
悪者たちのぶつくさ2 色々編

imaiwa

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪者たちのぶつくさ2 色々編

【Nコード】

N5137E

【作者名】

imaiwa

【あらすじ】

勇者や魔王、魔物いろんな立場の人たちの気持ちを代弁します。色々なシチュエーションを再現してみます。

第1話 勇者A編 お前等ひでよ！（前書き）

少し考え違いしていたようです。

取り合えず今書いてるものをよりよくするため、完成度を高める努力をします。

ご迷惑お掛けしました。

第1話 勇者A編 お前等ひでえよ！

ある勇者一行の話編

魔物A 腹へったなあ・・・

魔物B おい、うまそうな人間が3人歩いてるぜ

魔物C くつちゃお、くつちゃお！

勇者A ああ、疲れた・・・道迷った・・・腹減ったし・アンコ村はどつちだ？

魔法使い しるかよ、おめー勇者だろ、地図で調べろや、タコが・・・

僧侶 こりゃ、魔法使い！勇者になんつつ言い草じゃ

魔法使い だってさ・・・こいついつつも先頭でいくから

魔法使い それについていたらこのザマだ

魔法使い 腹の虫がおさまらねーよ

魔法使い この方向うんちが！

勇者 ひでー、お前言いすぎだよ

勇者 焼きいれるよ・・・？

魔法使い　なんだと、開き直りやがって

魔法使いは呪文をとねた。

魔法使い　ファイアボール

勇者A　勇者はダメージを受けた。

勇者A　いてえ、なにすんだおめー、マジコロス

勇者A　勇者は鉄の剣を抜いた。

僧侶　こりゃ、いい加減にせんか・・

勇者一行は仲間割れをしている。

魔物ABCが現れた

勇者A　む、魔物だ、やべーなんか見たことねーぞ

勇者A　こいつらひょっとして、強かったりして・・

勇者A　ケンカしてる場合じゃねー

勇者A　しかしやな時に出てくるな、

勇者A　俺さっきのファイアボールでやばいのに・・

魔法使い　しったことか、こっちゃんムシャクシャしてんだ

魔法使い　くらえー

魔法使いは全体魔法を唱えた。

魔法使い　ファイアストーム

炎がほとばしる

しかし魔物A B Cは平気な顔をしている。

魔物A　へへへそんなもんきくか

魔物B　俺たちや炎属性だぞ

魔物C　うへへ、たべちゃお、たべちゃお

勇者A　く、炎全然きいてねーじゃん、だせ・・

魔法使い　うつさいな、おめーもはたらけ

僧侶　仕方がないな、ワシの・・あれ攻撃魔法ないわ・・

僧侶　まだLv低いからな・・俺ずっと馬車で寝てたし

僧侶　とりあえず・・防御だけアップしとくな

僧侶は魔法を唱えた。

僧侶　カテキン！

勇者Aは固くなった。

魔法使いも固くなった。
僧侶も固くなった。

魔物Aの攻撃

僧侶　ぐええええ

僧侶は息絶えた。

勇者A　僧侶・・・カテキンの意味がねえ・・・HPすくなくすぎるんだよ・・・

勇者A　やべーこのままでは全滅する・・・

勇者A　魔法使いどうす・・・

魔法使いは逃げていった。

勇者A　ちょ・・・おま・・・待てよ・・・ひで・・・

勇者A　くそ、あんなやついれるんじゃないかった・・・どうしょ・・・

勇者A　そうだ！馬車だ、おいみんな！

勇者Aは仲間を呼んだ。

勇者A　あれ・・・出てこね・・・

勇者A　ん？　何だこの手紙は・・・？

勇者Aは手紙を読んだ。

勇者Aへ

あんた最高だよ、あんたについていったおかげで

結構LVも上がったし、金もたまった。

もう一緒に旅する必要ねーんで、この金で道具屋でも開いて

女と幸せに暮らします。

探さないでください。

アディオ〜

by 武道家

勇者A ぶ・・・武道家・・・くそおお・・・絶対生き残って・・・店に火つけてやる・・・

勇者A もうやぶれかぶれだ・・・

勇者A いくぞ！

勇者の攻撃

魔物Aはダメージを受けていない。

魔物Aの攻撃

勇者はダメージを受けた。

勇者は瀕死だ。

勇者A ……

勇者A いやいよ俺も最後か・・・

勇者A ん・・・？ポケットになにか・・・これは・・・にわたりの翼・・・

勇者A ふ・・・神は我を見放されてはいなかったか・・・

魔物ABC 死ねっ

勇者A そうはいくか！にわたりの翼を使った。

勇者は町に移動した。

勇者A 何とか逃げ切ったか・・・

勇者A た・・・す・・・か・・・った・・・バタッ

勇者A は気絶した。

勇者A んくそ魔法使いめ、裏切り者め、武道家・・・しなす・・・

勇者A 勇者は悪夢にうなされていた。

村女A 勇者様！大丈夫ですか？目を覚まして。

勇者A うっ・・・あ・・・ん？ここはどこだ・・・？

村女A ここはキル村にある病院です。

村女A わたしが道端に倒れてるあなたを見つけてここに運びました。

勇者A ……すまぬ……礼をいうぞ、女

村女A 礼なんていらなですわ

村女A 勇者様無事でよかった・

村女A 包帯を取り替えましょうね。

勇者A ……すまぬ

勇者A (この娘かわいいな・名前なんて言っただろ・)

B
e
C
o
n
t
i
n
u
e

T
O

第2話 勇者A編 魔物は俺の仲間！

勇者Aはあの病院で助けてくれた村女Aとリンと結婚した。
勇者Aはリンと貧乏ながらも幸福な生活を送っていた。

勇者A ははは、それでそれで？

リン だから・・・私言っただけだよ、武器屋の親父に

リン 「ぼったくり！」ってね

勇者A そりゃオヤジ驚いただろうな

勇者A さてと・・・そろそろ出勤・・・いや、魔物倒してくるよ。

リン そうね、そろそろお金もつきかけてるし・

勇者A うむ、魔物から巻き上げてくる、宝石でも持ってたからお前にやるよ

リン 嬉しい！勇者A頑張ってるね

勇者A 任せとけ！

リン いってらっしゃーい

勇者は野に出た。

勇者A ふゝ結婚生活も大変だな

勇者A 金かかるなゝ

勇者A まあいつか、魔物さえいれば、食う分は困らないか

ゲロイムA B C D E が現れた。

ゲロイムA B C D E 達は怯えている。

勇者A わりいな、俺今、お前等にしか勝てねーんだ、しんでくれ。

勇者A 勇者は特殊技を使った。

勇者A カマイタチ！

疾風がゲロイムを襲う。

ゲロイムA B C D E は全滅した。

ゲロイムを倒した。経験値5ポイント、5キルと薬草を巻き上げた。

勇者A またつまらんものを斬ってしまった・・

勇者A ・たわいもない・・

勇者A しかし、相変わらず金もってねーなゝゲロイムの奴

勇者A まあ弱いしな・・おかげで数出てきても倒せるけどな・・

勇者A もうちょっと、金持ってる奴倒したいが

勇者A はあ・・しかし一人って限界あるよな・・

勇者A しかし、人は信じられねえ・・・組むのはごめんだ・・・

勇者A チマチマ、ゲロイム倒してLV上げて、強くなるしかないな・

夜になった。

勇者A はあはあ・・・疲れた・・・体中ゲロまみれだ・

勇者A こんなけ働いて、1000キルか・・・割にあわねーよな・・・

勇者A 家帰って風呂でもはいる・

ゲロイムGが現れた。

勇者A あん？

勇者A もういいって・・・疲れたわ・

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした。

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

勇者Aは身を守っている。

勇者A だからやらねーつつの・・・さっさと逃げろよな・・・

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

勇者A こいつ結構根性あるな・

勇者A ゲロイムって弱虫ばっかなのに

勇者A しかし無理なもんは無理だって

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

勇者A こいつ・・・

勇者A 勇者の攻撃

ゲロイムGは倒れた。

勇者A ふーひつこかった・

勇者A 良く頑張ったけど、俺に勝つのは10年はええ

勇者A さてと、お金を巻き上げてつと・

勇者はゲロイムの小さなバッグを漁っている。

ゲロイムG プルプル

勇者A まだ生きてたか・

勇者A 取りあえず取るもの取ったし、家かえろ

勇者A うん？

ゲロイムGが起き上がると

仲間になりたそうに勇者Aをみつめている。

勇者A なんだ・俺に付いてくるってか・？

勇者A (こいつ弱いしな・・)

勇者A (まあ・一人も大変だし、金重いから、荷物運びに連れて行くか・・)

勇者A よし、仲間にしてやる。

ゲロイムGは仲間になった。

勇者A さあ、俺のパーティに入っただからには働いてもらっぞ！

ゲロイムG プルプル

勇者A 家帰るか・リンなんて言っかな・・

勇者Aは帰宅した。

勇者A ただいま

リン おかえりなさい

リン どうだった？

勇者A 儲かった！とは言にくいが・とりあえず1000キル手に入れたよ

リン ご苦労様ーお風呂にします？

勇者A そだな、その前にリンに見せたいものが・

リン ？

勇者A おい、でてこい

ゲロイムG プルプル

リン どうしたの？この子

勇者A 仲間になりたそうにしてたので、拾ってきた

リン そうなんだ

勇者A あの・・・うちで飼ってもいいかな？

勇者A ベトベトしてるが、荷物運びくらいにはなりそうなんだ

リン いいわよ、その代わり、外の馬小屋になるけどいい？

リン さすがに中では・・

勇者A うん、ベトベトしてるし、なにやら匂うしな。

リン とりあえず名前つけてあげないとね

勇者A うーん・・ゲロ吉、ゲロ太郎、お好み焼き、ローション、ゼリー

アメバ、単細胞、どれにする？

リン どれもいや><

リン そうね・・プルプルいうからプルちゃんで！

勇者A そのまんまやんけ・・

リン プルちゃんよろしくね！

プル プルプル

夜が明けた。

勇者A よし！出かけるぞ、プルこい！

プルプル プルプル！

リン いってらっしゃーい！

勇者Aとプルは野にくりだした

勇者A さてと、プル、おめーは荷物運びじゃ

勇者A 俺がぶっ殺した魔物から金品巻き上げて、馬車に積むまでがおめーの仕事だ

勇者A それまで馬車からでてくんなよ、てめー弱いんだから

プル プルプル

勇者Aほんとに分かってんのかな・

ゲロイムFGRHPが現れた

勇者A 勇者の攻撃

勇者A おらおらおらー

勇者A アター！アター！

ゲロイムFGRHPは全滅した。

勇者A よし、ほら積み、プル吉

プル プルプル

プルはゲロイムたちの死体を見た。

プル プ・・

プル プ・・ルププ（ご・・ごめんよ、みんな・・）

プル プププルル（俺はあの人についていくと決めたんだ・・・）

勇者A おらー、ちんたらやってんじゃねー！

プル プルプル

プルは泣きながら、ゲロイム達の屍から小さいカバンをまきあげた。

勇者A はー疲れた・・・夜も更けたし、金もたまったし、帰るかな・

勇者A しかし遅くまでやってたな・

勇者A プルのおかげで仕事がかどったな、プルGJ！

プル プルプル

プル プ・・・

グリ熊が現れた。

勇者A うえ・・・こいつ・かなりつえー奴じゃん・・・

勇者A やべー・・・どないしょ・・・

グリ熊の攻撃

勇者A 勇者はダメージを受けた。

勇者A ぐわ・・・いてえ・・・いてえよー！

勇者A このやろ

勇者Aの攻撃

グリ熊はかわした。

勇者A クソ・・・絶体絶命だ・・・

勇者A リン・・・帰れないかも・・・リン・・・

その頃

リン アハハハゝおめーがバカだつて！

リンはTVのバラエティー番組に突っ込みを入れていた。

T o B e C o n t i n u e

第3話 勇者A編 過去との決別

勇者A く…………

勇者A とてもかなわねーぞ・ハアハア・

グリ熊 ガウガウ（とどめだ〜）

プル プルプル〜〜〜！！（待て！）

プルが馬車から飛び出した・

勇者A お前・何を・

勇者A やめとけ・とてもお前のかなう相手じゃねえ・

グリ熊 ガウガウ（なんだおまえは・・？）

グリ熊 ガウガウ（魔物の癖に人間に味方すんのか？てめー）

プル プルプルプル（うるせーデブ、かかってこい！）

グリ熊 しねや〜！

グリ熊の攻撃

プルはかわした。

プル ププル（当たれば即死する！）プルプル（交わすんだ・・）

グリ熊の攻撃

プルはかわした。

グリ熊　ガウガウ（なんだと〜？）ガグガガウ（こんな奴に・・・）

勇者A　プル・・・お前・・・なんでそんなにすばやいの俺に・・・

勇者は驚いた様子でプルを見ている。

プル　プププル（俺は勇者Aに一撃で倒されたけど）

プル　ププププ（あの時は腹壊してて動きが鈍かった・・・）

プル　ププププル（でもスピードはゲロイムーなんだぜ！）

プルはピョンピョン跳ね回りかく乱する。

グリ熊　ガウガアア（あたらねえ・・・）

勇者A　今のうちに・・・にげ・・・

勇者Aは苦い記憶が頭をよぎった。

勇者A　く・・・これじゃ・・・俺も・・・

勇者A　俺も・・・俺を置いて逃げた魔法使いや武道家と同じじゃねーか！！

勇者A　考えるんだ・・・何かあるはず・・・

勇者A プルもう限界が近い・・・なんとかしないと・・・なんかないか・・・

勇者はカバンをこそごそし始めた。

勇者A これは・・・毒針・・・急所をつけば相手を一撃で殺れる武器・・・

勇者A 確か、えーと、グリ熊の弱点は右耳の裏側だ！

勇者A この隙に奴の後ろに回るぞ！

プル ププル・・・（もう限界だ・・・）

プルの動きが止まった。

グリ熊 ガガガガア（まあおめーにしちゃ頑張った方だな、だがこれでおしまいだ！）

勇者の背後からの一撃
プスッ！

グリ熊は即死した。

1000ポイントの経験値と1000キルのお金、ごついブーメランを手に入れた。

勇者はLvが10になった。
ライトニングの魔法を覚えた。
ステータスが上がった。

プルはLvが8になった。
ヒーリングを覚えた。

特技 火炎放射を覚えた。
ステータスが上がった。

プル ププル（勇者A・・・）

勇者A お前すごいな・見直したよ・

プル ププル（俺、あんた逃げると思ってた・・・）

プル ププル（それでもいいって・・・本望だって・・・）

プル ププル（でも・あんたは逃げなかった・・・）

勇者A 何言ってるのかわかねーけど、助かってよかった。

プル ププル（あんた最高だよー！）

プルは勇者に抱きつこうと飛び掛かる。

勇者はひらりと避けた。

プルは地面に激突した。

勇者A 何の真似だよ・・・服がべとつくだろ・・・

勇者A とりあえず熊から巻き上げて、ちゃっちゃと馬車に積みよ・

プル ププル・・・プ・・・（せつかくの感動を・・・この守銭
奴め・・・ぷ・・・）

プル プププ（まあ・・・いつか・助けてくれたのは事実だ・・・）

勇者A ほら～おうちに帰んべ

勇者Aは馬車を全速力で走らせた。

プル プルル・・・（ま・・・待てや・・・コルア・・・）

O B e C o n t i n u e

T

第4話 勇者A編 新しい仲間！

リン はい〜プルちゃんエサよ〜

リンは牛一頭をプルに与えた。

プル プルプル〜 （ありがとー！おいしい）

プル ボキ！グキ！グチャグチャ！ゲロゲロ〜ゴクン

リン いつ見ても豪快ね・・・（いつみてもキツモイ〜）

リン さてと、お洗濯しなきゃ

勇者Aは日曜日なので、家でゴロゴロしていた。

勇者A は〜暇だな〜・なにすっかな〜・・・

勇者A ピンポンダツシュでもしにいこうかな・・・

勇者A ……

勇者A そうだ・

勇者A 久しぶりに隣町にでも遊びに行くか。

勇者A おい〜リン！

リン な〜に？勇者A

勇者A あのなら今から隣町へ遊びに行こうかと思うんだけど

勇者A こないか？

リン ん

リン いく？

勇者A おうよ

リン プルちゃんどうする？

勇者A 置いてこ

勇者A 幸せそうに寝てるし、つれてくと村人が嫌な顔するしさ

リン じゃあ二人でいこっか！

勇者A よし！

二人は村をでた

リン 大丈夫かな？魔物たち襲ってくるんでしょ？

勇者A 平気平気

ゲロイムXJPKが現れた

ゲロイムは勇者を見ると素通りした。

リン あら、襲ってこないわ・

勇者A ははは、あいつ等さんざんぶちのめしたからな

勇者A すぐ逃げていつちまう、まあ俺の努力の賜物だね、@@@
アハハハ！！@@@

リン （どれだけ酷い目にあってるんだろ・・）

リン （責任感じるわ・・）

リンは遠い目をしている。

勇者A よしパンコ村見えてきたぞ

リン いろいろ買い物しちゃお

勇者A いろいろ・・？

リン うん

リン 綺麗な服とか、靴とか、宝石とか、新しい食器棚とか・・
t c e

勇者A おいおい、そんなに金ねーぞ・

リン 分かってるわよ、これでも主婦よ！

勇者A ほっ・

勇者Aとリンはパンコ村に着いた。

勇者A 結構賑わってるな

宝石屋A そのおねーさん！良い宝石あるよ！みていかないか？

リン 宝石くく！？どれどれく見せて！！

リン これいい！いくら？

宝石屋A 50000キルだ、でもおねーさん綺麗だから49800キルにまけるよ！

リン 買った！

勇者Aは不思議な踊りを踊った。

勇者A ちょっとまでよ！そんなん買ったら明日からご飯梅干だぞ？

リン 大丈夫！プルちゃんのご飯を一ヶ月くらいぬくから！

リン だって、魔物だもん、1ヶ月くらい大丈夫だよ

勇者A ひでくくおまくあいつだって生きてるんだぜ！

リン ううくくじゃあ返すくく

リンは宝石を返した。

勇者A （女って怖いくく）

勇者は少し怯えている。

勇者A お、屋台でてるぞ

リン いこいこ！

露天商A さあみていつて〜かわいいペット売ってるよ〜！

露天商A ほら、大ムカデみてみて〜、足がとてもキュート！

リン わーかわいい！

勇者A ……

勇者A （リンって結構悪趣味だな・・・）

リン おじさん、この子は？

露天商A お、おねーさんお目が高い！

露天商A そいつあ、なんと！あのゴーレムの子供だよ〜！

リン おお！

露天商A 育つとかなり強い奴になるよ〜！しかも人間語もしゃべれる！

勇者A ほお・・・

勇者A　いくら？

露天商A　100000キルのところを、なんと！出血大サービス！500キルで売るよ！

リン　安い！買った！

露天商A　おお

勇者A　ちよつとまで・・・何でそんなに安いんだ・・・？

露天商A　ギク・・・

露天商Aは額に大量の汗をかいている。

露天商A　べ・・・別に・・・た・・・ただちよつと・・・きかん坊なところであつてね・・・

露天商A　人間のゆうこと一切聞かないだけだよ！・・・ただそれだけ！

勇者A　おいおい

リン　まあ・・・なにか昔嫌なことあったのかしら・・・ぐれてるのね・・・

勇者Aは少し考えていた。

勇者A　（500キルか・・・ゴーレム・・・強いよな・・・）

勇者A （多少ぐれてても・・・俺の愛にかかれば・・・）

勇者A よし、オヤジそれ買った。

露天商A おお、さすが勇者A、お目が高い、やっとやっかい・
いや・

いい飼い主見つかって、よかったよかった！

勇者A 良い買い物したゝアーハハ！@@

リン うふふ

檻の中のゴーレムの目がキラリと光った。

T
o
B
e
C
o
n
t
i
n
u
e

第5話 勇者A編 ゴーレムvs勇者A！

勇者Aとリンは帰宅した。

リン は〜楽しかった！

勇者A うんうん、いい買い物したしな

リン うん

勇者A じゃあ、先家に入っというて、リン

勇者A 俺、外に置いてある馬車からゴーレムの入ってる檻降ろしとくから

リン 分かった、じゃ夕ご飯の支度するね！

勇者A たのむわ

リンは家に入った。

勇者A さてと・降ろすか

勇者A うんしょ、うんしょ、糞重いな・・

勇者A ゴーレムだもんな・・岩で出来てるしな

勇者Aはゴーレムの檻を馬車から降ろした。

勇者A よし、ゴーレム鍵開けるわな
ゴーレム……………

カチャ！

檻の鍵が開いた。

勇者A さあでておいで〜ここが今日からおめーのうちだぞ〜

ゴーレムは檻からゆっくり出た。

ゴーレム……………

勇者A ゴーレム、今日からお前の主人は俺だ

勇者A 俺のゆうことちゃんと聞くように

ゴーレム……………

勇者A なんか言えよ

ゴーレム……………

ゴーレムは空を見ていた。

勇者A （確かに、ちょっと扱いにくそうだな・・・500キルだし・・・）

勇者A （この手の奴は、教育が必要だな・・・俺の恐怖を叩き込んでおかないと・・・）

勇者A （舐められたら、負けだ・・・）

勇者は気合を入れた

勇者A こら！挨拶せんかい！

ゴーレムは勇者Aをみた。

ゴーレム おはようございます、ご主人様

勇者A うむ、それでいいんじゃない

勇者A な～んだ、気合入れて損した

ゴーレムの目がキラんと光った。

ゴーレムの背後からの不意打ち！

ゴーレム アックスボンバー！！！！！！！！！！

勇者は不意打ちを食らった。

勇者Aは10のダメージを受けた。

ゴーレムの流れるような連続攻撃

ゴーレム ゴーレムパンチ！、キック！、煉獄拳！地獄落とし。

勇者A うわ、わ・・・わああぐわあああああああああ！

勇者に50のダメージ！

勇者Aは地面に倒れた。

ゴーレムは勇者の頭を足で踏んだ。

ゴーレム　．．フ・油断したな．．誰がお前なんかの奴隷になるかよ．．

勇者A　こ．．こいつ．．とんでもねえ．．

勇者A　すげえ卑怯な上につええ．．．．

勇者はゴーレムの足を払うと立ち上がった。

勇者は笑っている。

ゴーレム　！？

勇者A　ふふ・ふふふ．．

勇者A　おめー気に入ったよ．．

ゴーレム　なに笑ってやがんだ！

勇者A　おめーみたいな頭が回って卑怯でつええ奴、探してたんだよな．．

勇者A　だけど、俺はおめーのマスターだ、ちょっとその事教えてくかな．．

勇者はスラリと剣を抜いた。

ゴーレム　おまえ、俺とやる気か？まだやられ足りないようだな．．

ゴーレムの攻撃

勇者はひらりと避けた。

勇者A さてと・・・本気だすか・・・ニヤリ・

勇者は不気味に微笑んだ。

ゴーレム 何だこいつの余裕は・・・

ゴーレムは少し恐れている。

勇者Aの攻撃

勇者A くらえ！

勇者は地面の土を握るとゴーレムの目に投げつけた。

ゴーレム ぐわあ・・・目が・・・目がああ・・・

勇者の連続攻撃

勇者A スライディング！

ゴーレムはこかされた。

勇者はゴーレムに飛び乗り、体を足で踏むと喉に剣を突きつけた。

ゴーレム （なんて卑怯な奴だ・・・）

勇者A 終りだ・・・

ゴーレム くっ・・・

勇者A 服従か死か・・・どちらか選べ・・・

勇者はマジな目をしている。

ゴーレム (やばい・・・断れば・・・ヤラレル・・・)

ゴーレム (・・・こいつの目は・・・地獄を見てきた目だ・・・只者じゃねえ・・・)

ゴーレム ……

ゴーレム …俺の完敗だ・・・好きにしな・・・

勇者A よし！分かったようだな、今日からお前は俺の仲間だ！

ゴーレム 仲間・・・？

勇者A そうだ仲間だ

ゴーレム 仲間か・・・

勇者A よっしゃ家に入ろう・お前もこい！

ゴーレム ok、マスター・

ゴーレムは仲間になった。

T
o

B
e

C
o
n
t
i
n
u
e

第6話 勇者A編 嫉妬！

勇者A おし、ゴーレム、俺の嫁に挨拶しろ

リン はじめまして、ゴーレムちゃん！

ゴーレム ……

ゴーレム はじめまして…

リン リンよ、よろしくね！

ゴーレム よろしく…

ゴーレム （マスターの嫁さん綺麗だな…）

ゴーレム ……

勇者A さーてこいつにも名前考えないとな！

リン そうね！

勇者A ゴレムス、ゴレーム、岩男、タイタン、不意打ち28号

ムースカ、タカシ、帝王、闇金、虚心兵

勇者A どれがいい？

ゴーレム ……

リン うーん、悩むね

ゴーレム 俺・・・

ゴーレム 名前あります・

勇者A そうなのか？

リン なんていうの？

ゴーレム タケシ・・・

勇者A おお・・・いい名前だ。

リン タケシちゃんね

勇者A よしタケシ、お前の仲間プル吉にもあわしところな。

勇者A リン、ちょっとこいつプルとご対面させてくるわ

リン はい

勇者Aとゴーレムは馬小屋へ向かった。

勇者A プル、いるか？

プル プルプル（へい）

勇者A 新しい仲間つれてきたぞ

勇者A タケシだ、よろしくな

タケシ よろしく、先輩・

プル プルプル・・（よろしく・・）

プル （なんて怖そうな奴なんだ・・）

プル （いじめられそう・・）

プル （くっ・・気負けするな・・最初が肝心だ・・）

プル （俺の生き場所はここしかないんだ・・）

プルはなにやら、いきり立っていた。

タケシ （フ・・マスターの下についたが・・）

タケシ （マスター以外に偉そうにされるのはごめんだ・・）

タケシ （とりあえず、こいつは後でシメておくか・・）

勇者A さあ飯にすつか

勇者A タケシいくぞ

タケシ はい、マスター・

二人は家に入った。

プル（タケシって奴いいな〜・・・魔物なのに・・・家にはいれるのか・・・）

プル（俺ベトベトしてるし、臭いから、仕方ないけど・・・羨ましいな・・・）

プルは羨ましそうに、暗い馬小屋から家の窓の明かりを眺めていた。

リン　夕食できたわよ

勇者A　お、うまそう

勇者A　いただきまーす

タケシ　・・・・・・

リン　タケシちゃん、どうしたの？

勇者A　どした、タケシ、遠慮せず食えよ。

タケシ　俺・・・ゴーレムだから岩しか食えません。

勇者A　そうなのか、そりやすまなかつたな

勇者A　ちよつとまってる！

勇者Aは家を出て行った。

勇者A　ただいま〜ほら岩だぞ〜

リン　おかえり

勇者は近くの岩山から岩を拾ってきた。

勇者A さあ、食べ！

タケシ ……頂きます…

タケシ （岩って…俺上質の花崗岩しか口に合わないんだけどな・
・我慢するか・）

タケシ ……バキバキ…ガラガラ…

勇者A はー食った食った！

勇者A リンの飯はいつ食ってもうまいなー！

リン うふふ、ありがとー！

リン じゃ後片付けしないとね

勇者A TVでもみよーっと

勇者Aはゴロゴロしはじめた

リン はー腰痛い…

タケシ 手伝いましょうか…？

リン ええ…

タケシはテキパキ後片付けを始めた。

リン わく助かる！タケシちゃんありがとゝ ミ

タケシ いえいえゝ・・・

プルはその様子を暗い馬小屋から眺めていた。

プル ププルプ（あいつ・・・）

プル ププル・（やろゝ・・・俺のリンさんと・・・楽しそうに話
しやがって・・・）

プル ププルウル（ぽつと出の癖に・・・すっかり溶け込んでや
がる・・・）

プル ププププー（許さん、許さんぞ・・・）

プル プププル（世の中・そんなに甘くないってことを教えてや
る・・・）

プルは暗い馬小屋でメラメラ闘志を燃やしていた。

タケシ リンさんゝ、ここはこう磨くといいですよゝ

リン タケシちゃんすごいー物知りゝ

タケシ いやあ、それほども、アハハハハ！

o
n
t
i
n
u
e

第7話 勇者A編 決戦5秒前！

夜も更けてきた。

勇者A はゝそろそろ寝るか。

リン そうねゝねむい・・

勇者A タケシ、おめー馬小屋で寝ろ

タケシ え・・

勇者A ああ、言ってなかったっけ

勇者A 俺はな、基本的に魔物たちは馬小屋で飼う方針なんだよ

リン ごめんねゝ、私はタケシちゃんならいいと思うんだけど

リン 勇者Aがだめだって言うから・・

タケシ 分かりました・・

タケシは馬小屋へすごすご歩いていった

タケシ (ふゝ・まあ・どこで寝るのも同じことだがな・)

ガタ・

タケシは馬小屋の扉を開いた。

プル ププ…（んゝ誰だ糞眠いのにな）

プルは頭から伸びている触角の先を発光させた。
タケシが仁王たちして、プルを見下ろしていた。

プル ププププ！（お・・おまえは！）

タケシ よう先輩

プル ププププ！（何しにきやがった！）

タケシ 別に・・

タケシは遠い目をしている。

プル （なんだこいつ、どうしたんだ・・）

タケシ 俺家から追い出されたんだ・・

タケシ 勇者Aが魔物はここで寝ろってよ・・

プル ……

プル プププ（ここでは勇者Aが法律だからな・）

プル ププププ（あの人は優しいんだけど、魔物のしつけにはうるさいんだよ）

プル プププ（まあ・・仕方ないんだがな）

タケシ おめーも・・・苦労してそうだな・・・

プル プププ（ふ・・・慣れたさ・・・）

二人に奇妙な友情が芽生え始めていた。

タケシ でもまあ、俺はお前と違って、家には入れてもらえたけどな

タケシ リンさん、可愛いよな〜手すべすべしてた・・・

プル ！？

プル ププププ！（てめえ！リンさんの手握ったのか！！）

タケシ うん、握ったけどそれが何か？

プル ププププ！（俺は手がないし・・・）

プル プププルプ！（ベタベタするとか、臭いとかで・・・）

プル プルプププ！（半径2m以内には近づけないんだよ・・・）

プル プププププ（その俺を差し置いて、ポッと出のお前がリンさんの手触っただ〜！！）

タケシ それがどうしたってんだよ??

プル ププププ（ゆるさねえ・・・おめーに世の中の筋道つてものを教えてやる！！）

タケシ ふ・・・お前にやれるのか？

プル ププププ（勝負しろ！）

奇妙な友情は勘違いだったようだ。

プル ププププ！（表に出やがれ！）

タケシ ふ・・・何怒ってるかわからないが

タケシ 売られたケンカは買うのが俺の流儀だ・・・

プル ププププ！（裏庭に広場がある、そこで決闘だ！）

タケシ よかろう・・・

その頃

リン あん勇者Aつたら・・・もう

勇者A いいだろうなあリン・・・

リン うゝん・・・

リンと勇者Aはちちくりあっていた。

ue

To Be Contin

第8話 勇者A編 魔物たちの夜！

タケシ あたらねえ．．

プルは物凄いスピードで跳ねまくっている。

プル プルプル！（オラアオラア！）

プルの攻撃

特殊技 体当たりを使った。

プル プルウウ（くらええ．．！）

タケシめがけてプルが突っ込んだ。

プル プル〜〜！（俺の全てを賭けた一撃だ！）

タケシ ．．ひっかつたな！

タケシ お前が飛び込んでくるのを待っていたんだ！

プル プル！？（何！？）

タケシにプルは激突した。

タケシは40のダメージを受けた。

タケシの目がキラリと光った。

タケシのカウンター攻撃！！

タケシの右ストレートがプルを捉えた。

プルに38のダメージ！

プルは地面に叩きつけられた。

タケシ 捉えたぞ！

タケシ ざましろ！

プル プルウプ・・・（不覚・・・）

プルは地面に倒れている。

タケシ う・・・

タケシ これほどとは・・・

タケシも地面に倒れこんだ。

プル プルプル・・・（危なかった・・・ハアハア・・・）

タケシ ハアハア・・・プル・お前中々やるな・・・

タケシ 見た目のしょぼさとは、えれゝ違いだ・・・

プル プルプル・・・（お前こそ・・・とんでもなく強いぞ・・・）

タケシ 今日は俺の負けってことにしておいてやるよ・

プル プルプル（なに・・・！？）

タケシ 悪かったよ・・・お前の気持ちもしらねーで

タケシ リンさんにベタベタしたことは謝ろう・

プル プルプル・・・（まあ分かればいいよ・・・）

タケシ ふ・・・

二人は夜空を見ている。

プル プルプルプル・・・（なあ・・・お前・・・店で売られてたんだってな・・・？）

タケシ うむ・・・

プル プルプルプル（勇者Aが得意げに話してたよ・・・いい買い物したって・・・）

タケシ いい買い物か・・・あの人らしい・・・

プル プルプル（なんで売られてたんだ・・・？）

プル プルプル（お前ほどの力があれば・・・逃げ出す事も簡単だろうに・・・）

タケシ ……

タケシ　なんで逃げなかったんだろうな．．俺．．

タケシ　．．たぶん．．逃げる事に疲れたんだと思う．．

プル　プル．？（ん．．？）

タケシ　この夜空を見ると、思い出すよ．．

タケシ　忌まわしい過去をな．．

タケシは回想している。

プル　プルププ．．（お前も．．なんか色々あったんだろうな．．）

タケシ　．．．．．

プル　．．．．．

タケシ　取り合えず、俺はあの人に付いて行って、いつか．．

タケシは何か言いかけたが言葉をとめた。

タケシ　まあ．．そのうち追々．．話してやるよ．．

タケシ　それまでよろしくな．相棒．！

プル　ふ．．

タケシが手をプルにかざした。

プルは頭の触手をタケシの手にくらめて握手をした。

勇者Aはその頃・・・

まだいちゃいちゃしていた。

リン 勇者Aったらもう寝たいの・・・だめ・・・

勇者A まだ・・・もうちょっと・・・たのむよう・・・リン

B e C o n t i n u e

T
O

第9話 勇者A編 勇者倒れる！

勇者A そろそろ仕事いつてくるわ、リン

リン いつてらっしゃーい！

リン みんな頑張ってね！

プル プルプウ（行ってきますー！りんさん！）

タケシ 任せてください・・・

勇者A 今日はちょっと奥地まで行くぞ！

プル プルップ（アイアイサー）

タケシ OK！

三人は村を出た。

勇者A ゲロイムたちはめんどいから無視な

勇者A 逃げるだろうけど、追っかけんでも良いからな

ゲロイム j k f g が現れた！

勇者たちを見ると逃げ出した。

ゲロイム a b c d が現れた！

勇者たちを見ると逃げ出した。

ゲロイム E F X Z が現れた！

勇者たちを見ると逃げ出した。

三人は暗い森の中へ足を運んだ。

木の精 a b c が現れた！

勇者 A おお、始めてみる魔物だ。

勇者 A やろーども、やつちまえな！

タケシの攻撃

特殊技 地獄の炎！を使った。

タケシ 燃えつきな・

炎が木の精 a b c たちを包む！

木の精 a b c は全滅した。

300ポイントの経験値と300キル、葉っぱを手に入れた。

勇者 A タケシやるな・おめー技が豊富で助かるわ。

タケシ 大したことねーですよ

プル プルプル！（いやお前すげーよ）

勇者 A 良し今日の狩場はここだ！

勇者 A ちょっとキャンプはるので、お前等適当倒しとして。

タケシ 任せな！

プル プル（ok!）

勇者はパーティーからはずれた。

数時間後・

タケシ ハアハア・・かなり倒したな！

プル プルプル（うん、お金もいっぱいだ！）

プル プルプル（そういや、マスターは？）

タケシ キャンプ張ってから出てこないな・

タケシ プルみてきてくれ

プル プル（ウス！）

プルはキャンプを覗いた。

プル プルプル（勇者A！どうせ寝てんだろ？ん？）

勇者A うう・・

勇者Aが青ざめた顔で苦しそうに横たわっている。

プル プルプルプ！！（どうした！！勇者A！！）

勇者 A 毒蛇にかまれた・・・うう・・・苦しい・・・

プル プルプル（何だって！！）

プル プルプル！！（タケシ！！来てくれ！！早く！！）

数時間後

二人は勇者 A を村の医者まで連れて行った。

町医者 A これは・・・

リン 先生どうですか・・・？

町医者 A この症状は・・・

町医者 A たぶん、かんだ奴はピリピリ蛇だろう・

町医者 A こいつに噛まれると、体内に毒が回り2日で死にます・・・

リン ええ・・・

プル プル（そんな・・・）

タケシ・・・

リン そんなあ・・・先生・・・なんか解毒の薬ないんですか！！

町医者 A あることにはあるが・・・

町医者 A 東にある、ヒドラ山に住むヒドラの尻尾を煎じて飲めば助かるはず・・

町医者 A しかしあそこはとても危険な場所・・地元の人間ですら近づかない場所で・・

リン・・・・・・私行きます・・

町医者 A あなたが・・・・？危険ですよ・・女性一人で行ける場所じゃ・・

リン 大丈夫！私には仲間がいます。

リンはプルとタケシをみた。

リン 力を貸して！みんな！

タケシ リンさん・・

タケシ 任せてください・・あなたを命に代えても守ります・行きましょう！

プル プルプル（俺も！リンさんは俺が守る！）

勇者 A うう・・お前等・・

勇者 A すまんな・・

タケシ マスター・・待つてな・・俺達がすぐとって来るから・・

リン よし家に帰って準備したらいくわよ！

二人 ラジャー！

i n u e

T o B e C o n t

第10話 勇者A編 決死のヒドラ山！前編

三人は家に戻ってきた。

リン　すぐ行くから外で待ってて！

二人は外で待っている。

プル　プルププ（化粧でもしてんのかな・？）

タケシ　さあ・・・薬草とか色々準備してるんだろっ。

リン　・・・・・・・・

リン　また・・・これを着る日が来るなんて・・・

リン　でも考えてる暇はないわ・・・

リン　勇者Aのために・・・私はまた・・・鬼に戻る・・・

リンが外に出てきた。

プル　プルウウ！（え・・・）

タケシ　・・・・・・・・ゴクン・・・

リンは忍者のくのいちスーツを着ている。

リン　・・・・・・・・

タケシ（微妙にエロイ・・・）

プル プルプ（リンさん・・・その格好は・・・ゴックン）

リン あんたたち！じろじろみてるんじゃないよ！

タケシ＆プル びくッ！

タケシ（どうしたんだ・・・服装ばかりか・・・かんじも・・・）

プル（いつものリンさんじゃない・・・）

リン もたもたしてる暇はないよ！

リン さあ馬車に乗れ！

二人は言われるがまま馬車に乗った。

リン 飛ばすよ！

馬車は疾風のようにヒドラ山へ驀進した。

プル プルプル（ハアハア・・・なんてすごい馬車さばき・・・）

プル プルププ（勇者Aよりすごい・・・酔っちゃったよ・・・ウゲ）

タケシ ……

タケシ さすが勇者Aの奥さんだけのことはあるな・・・

タケシ リンさんも只者じゃなさそうだ・・・ゲロゲロ・・・

二人は馬車からゲロを垂れた。

キキキキーーーーー！

馬車が急ブレーキをした。

その反動で二人は馬車から放り投げられた。

プル うわああ・・・

プルは地面に激突した。

プル プルププ（イタタタタ・・・腰打った・・・）

タケシは空中で回転すると地面に着地した。

タケシ おめゝ腰あつたんか・・・

プル プルプ（腰くらいあるわ！ほらここ、ここ！）

タケシはプルが触覚で指す場所をみたが、どこが腰か分からない。

タケシ ……それは・・・おいといて・・・

タケシ ここがヒドラ山か・・・

リン てめーら！ここは魔物がうようよする場所よ！油断するなよ！

リン ちゃきちゃき歩きな！さあいくよ！てめーたち！

タケシ ハイ・姉御！

プル（びくびく・・・）

三人はヒドラ山を登って行った。

e！

T
O
B
e
C
o
n
t
i
n
u

第11話 勇者A編 決死のヒドラ山！中編

土男が現れた！

タケシ くらえ！

タケシの攻撃

土男に30のダメージ！

プルの攻撃

土男に20のダメージ！

リン はあああー！

リンの攻撃！

特殊技 地走り！

土男Aに58のダメージ！

土男は倒れた。

経験値700ポイント、600キル、花崗岩を持っていた。

リン ふん！

タケシ つええ．．りんさん．．

プル プププ（リンさん勇者Aより強いんじゃ．．）

リン ．．．．

リン そんなことはどうでもいいよ！ヒドラの居場所吐かせるんだよ！

土男 A ……

タケシ 吐け……？

タケシ お前は何人目だと思ってるんだ……？

タケシ コロスぞ……？

土男 A ふん……

ブル ププププ（俺に任せな……タケシ）

ブルは鋭い目つきに変わった

ブル プルププ（土男 A よ……）

ブル ププププ（この間さぁ……お前の妹にたまたま会ったんだけどさ……）

ブル ププププ（あんまし、かわいいんで、さらっちまったよ……）

土男 A なんだと……？土実を？

ブル プルププ（そうそう、その土実ちゃん……）

ブル プルププ（かわいいよな……デコボコしてて……）

プル プルププ（でもな〜・お前の妹、勇者Aにわたっちまったんだよ・・・）

土男A 誰だそいつは・・・？

プル プルププ（奴は女好きだし、変態だし、今頃どうなってるだろうなあ・・・）

土男A 土実・・・

プル プルププ（でもよ〜、俺は奴の親分だから、今から携帯にかけりゃ）

プル プルププ（辞めさせる事もできるんだぞ・・・？）

プル プルププ（吐いちまえよ・・・それで妹は解放されるぜ・・・）

プル プルププ（良い取引だと思うんだがな・・・）

土男A そんなもの信じられるかよ・・・

プルは遠い目をしてみた。

プル プルププ（たった一人のアニキに見捨てられたか・・・）

プル プルププ（かわいそうにな〜お前の妹もよ・・・）

プル プルププ（じゃあ俺達いくわ・・・あばよ・・・）

プルは立ち去ろうとした。

土男A ま・・待ってくれ！・わ・・分かった、言うよ・・この山の中腹に岩がある・・

土男A その岩の右橋のデッパリを叩けば岩が崩れ

土男A ヒドラ様のいる部屋にいけるよ・・

土男A さあ言ったぞ、勇者Aとやらに連絡してくれ！！

プル プルププ（だそうだ・・タケシ・リンさん・・）

プル プルプル（土男Aよ、悪かったなあ・・）

プル プルプル（嘘だよ・・まんまとかかったな・・）

土男A な・なんだってー！このやろう！

プルの攻撃

火炎放射！

土男Aは息絶えた。

プル プルプル（ふー哀れな奴・・）

プルはいつものとぼけた顔に戻った。

プル プルプル（さあいきましょう！）

タケシは一部始終、プルのやり取りを聞いていた。

タケシ こいつは………

タケシ （昔、闇金の取立てでもしてたんじゃ・・）

タケシ （こいつ何者なんだ・）

タケシ あなどれねえ・・

タケシ はプルを見る目が変わった。

プル プルプル（俺なんかいった？）

タケシ さっきの会話なんなんだよ・？

タケシ お前って・・ひょっとしてかなりブラックな奴なんじゃねーの・・？

プル プルプル（ああいまのか？昔TVでそういう893映画みてさ・）

プル プルプル（ちょっと真似てみただけだよ、ハハハ！）

タケシ なんていう迫真の演技・・

タケシ おめえ劇団に入ったらスターになれるぜ・・

タケシ （ビックリさせやがって・・）

リン てめーら！分かったか？

プル プルプル（ヘイ！）

タケシ 姉御いきましよう、中腹にある岩場へ！

三人は岩場へやってきた。

デッパリを押した。

岩が崩れ緒落ちると階段が現れた。

リン この下にはヒドラがいるんだね・

リン てめーら！覚悟はできてるかい？

タケシ ふ・・愚問ですよ、姉御

プル プルプル（行きましよう！）

T
o
B
e
C
o
n
t
i
n
u
e

第12話 勇者A編 決死のヒドラ山！後編

ヒドラ 何者じゃ・・・

リン さあね～・

リン ただあんたの尻尾貰い受けに来たもの・・・とだけ言っとくかね・・・

ヒドラ 尻尾・・・

タケシ 尻尾分けてくれないか？

プル プルプル（じーさんケチケチすんなや！）

ヒドラ 尻尾って・・・あげるって・・・切れていうのかな？

リン そういうことになるね・

ヒドラ そんなしたら痛いじゃろ・・・

プル プルプル（うるせーつべこべ言わずに渡しな～！オラー！）

プルの攻撃！

ヒドラには通じない

ヒドラ 礼節を知らん奴じゃ・・・ フン！

ヒドラのバリアの衝動！

プルに10のダメージ

プルは壁に吹き飛ばされた。

プル　ぐあああ・・・

タケシ　くっ・・・

タケシ　プル大丈夫か・・・？このやろ！

タケシの攻撃

特殊技　地獄の炎！

ヒドラにはきかなかった。

ヒドラ　ふおふおふお、ワシは炎の化身だぞ・

ヒドラ　そんなの効くわけないじゃろ・

ヒドラ　やれやれ・・・全く礼儀の知らない奴等ばかりじゃ

ヒドラ　目上のワシへの態度がなっとらん

リン　（く・・・とてもかないそうにないね・・・仕方ない・・・）

リンは煙球をつかった。

リンはいつもの格好に戻った。

リン　すみません、ヒドラさん・・・

ヒドラ ん・・・さつきと感じがずいぶん違うの・・・

リン あのスーツ着ていると、性格変わるんです。

リン あの・・・実は・・・私の夫が蛇の毒にかかって死に掛けてるんです。

リン 助けるために、どうしてもあなたの尻尾が必要なんです・・・

ヒドラ ふむ・・・なるほどな・・・

ヒドラ あいわかった・・・尻尾を・・・

ヒドラ と、言いたいところじゃが・・・痛いのと血は嫌いなんじゃ・・・

ヒドラ 悪いが他あたってくれ・・・

リン そんな・・・

リン （この糞ジジイ！！）

リン （搦め手失敗！！）

リン こうなれば・・・

リンは煙球を使った。
くのいちリンに戻った。

リン ふん！こうなれば実力行使よ！

ヒドラ ほほお・ねーちゃん、ワシにかなうと思ってるのかい？

ヒドラ やめたほうがいいぞ・

リン ふふ・

リンの攻撃

特殊技 クノイチ忍術 色！
煙がリンを包む

リンはエロイ格好になった。

リン ……おじいさん・

ヒドラ な・…なんじゃ・

ヒドラはドキドキしている。

リン あのね・…リン・…あなたをみたときから・

リンはヒドラに擦り寄った。

プル プルプル（り・…リンさん・…エロ過ぎ・…）

プルはリンのエロイ格好に釘付けである。

タケシ うう・…エロイ・…

リンはタケシのほうをチラっとみた。

タケシ はっ！

タケシ これは・・・（わかりやした・・・リンさん・・・）

リン おじーさん・・・男前ね・・・チラ・・・

リンは袴から太ももをちらつかせた。

ヒドラ うひょお・・・若い女のふともも・・・いいのぉ・・・

プル プルププ（鼻血が・・・とまらねえ・・・たまんね・・・）

プルは出血多量で10のダメージを受けた。

タケシの背後からの攻撃！

特殊技 タイタンソード！

ヒドラの尻尾の先っぽを切り取った。

タケシ リンさんっ！

タケシは尻尾をリンに投げた。

リン よくやった！タケシ！

タケシの尻尾をリンは受け取った。

リンは煙玉を使った。

忍者スーツに変わった。

ヒドラ なんじゃ・・・もうおしまいか・・・ん？

ヒドラは尻尾の先をみた。

尻尾の先はなくなって血がどくどく流れている。

ヒドラ 血イイイイイイイイイイイ！ーイヤアアアア！

ヒドラは暴れだした。

リン お前達、洞窟が崩れる前に逃げるよ！

プル プルプル（アイアイサー！）

タケシ 了解！

ヒドラ 逃がすか~~~~~！

ヒドラはタケシの足にかみついた。

タケシ ぐわああ・・・

リン タケシ~~~~！

プル プルプル（タケシー！）

タケシ 放せ！このやるー！

ヒドラ 食い殺してやる・・・

タケシ く・・・ここまでか・・・

二人がタケシを助けようと駆け寄った。

タケシ くるな！

リン なにいつてんの！

ブル プルププ（助けなきゃ・・・！」

タケシ だめだ！来るな・・・お前らのかなう相手じゃない！

タケシ 奴が俺に構ってる間に逃げるんだ！

タケシ そして勇者Aに尻尾を届けるんだ・・・

リン そんなことできるわけ・・・

ブル プルプル（お前をみすてていけるわけないだろ・・・）

タケシは真剣な目で二人をみた。

タケシ 勇者Aに尻尾を届けないと、勇者Aは死んでしまう・・・

タケシ あの人を死なせるわけには行かない・・・

タケシ 大丈夫さ・・・俺ならなんとかなる・・・

タケシ 行ってくれ・・・

プル・・・

プル プルププ（タケシ・・・）

プル プルププ（りんさん、行きましょう・・・）

タケシ そうだ・行ってくれ・

リン そんなことできるわけ・・・うっ

プルは背後から電気ショックでリンを気絶させた。
リンは倒れた。

プル プルプル（・・・タケシ・・・絶対生きて帰ってこいよ・・・）

タケシ・・・

タケシ ・俺が死ぬわけないさ・・・

プルはリンを頭の上に抱えると洞窟を出て行った。

タケシ プル・・・リンさんを頼んだぞ・・・

ヒドラ 逃がすかー！

ヒドラ こいつぶっ殺したら、すぐにあいつ等も追って行って、ハ
ッ裂きじゃー！

タケシ・・・そうはさせねえ・・・

タケシ　じーさん・・・悪いが道ずれになってもらうぜ・・・

ヒドラ　なんだと・・・

タケシ　一緒に地獄へ行こうや・・・

タケシの攻撃

特殊技　超自爆！

タケシの体が光る！

ヒドラ　ぐわあああ、まさかワシがああ・・・

タケシ　・・・・・・・・さらば・・・・・・・・

洞窟内をすごい爆発が襲う。

洞窟は崩壊した。

山は溶岩が流れ始めた。

プルたちは山の入り口まで降りてきた。

プル　プルププ（ここまでくれば・・・ハアハア・・・）

リンが目を覚ました。

リン　う・・・う・・・ここは・・・

リン　あ・・・プル・・・

リン　！？

リン タケシ！タケシはどこ！

プル ……

リン ……

リン うう…アイツかっこつけやがって…

プル プルププ（リンさん…）

リン タケシ…

リンは泣き始めた。

リン うう…

プル プルププ（タケシは…俺達…いや・リンさんを守りきったんだよ…）

プル プルププ（タケシ…）

プル プルププ（取り合えず勇者Aを治療しに帰りましょう…）

リン ……うう…

リン そうだ…あいつの死を…無駄にしないために…勇者Aに尻尾を届けないとね…

リンは静かに立ち上がると山の方を見た。

リン タケシ・・・

リンは勇者Aのいる村へ馬車を走らせた。

ue

To Be Contin

第13話 勇者A編 勇者復活!?

プルとリンは村についた。

リン ……

リン ……急がなきゃ…

プル プルプル（勇者Aの病院へ！）

リン あ…この格好じゃ…

リンは煙球を使った。

いつもの格好に変わった。

ガターン！

リンは医院のドアをこじあけた。

リン 先生ー！

リン 先生ー！

リン 帰ってきました・

プル プルプル（勇者A！）

町医者A ん？リンさん、どうされましたか？

リン 尻尾を…ヒドラの尻尾を持ってきました・

町医者 A ほほお・・・

町医者 A 頑張りましたね・・・

町医者 A ・・・・

リン ！？

リン 先生どうされたんですか・・・？

町医者 A ・・・・

町医者 A 大変言いにくいんですが・・・

町医者 A 先ほど勇者 A は息を引き取りました。

リン ！？！？

リン え・・・・・・・・

リン なんで・・・？

プル プルプ（そんな・・・）

リン そんな・・・勇者 A が・・・

プル プル（まだ時間はあるはず・・・）

町医者 A 私が予想した以上に毒の周りは早く・・・

リン うう・・・そんな・・・

プル プルププ（そんな・・・これじゃ・・・タケシは、一体なんのために・・・）

リンは泣き崩れた。

プルも泣いている。

町医者A ……

町医者A ・そして、彼が死んだ後・・・

町医者Aはメガネを外した。

町医者A 不死鳥の尻尾をつかって、すんなり蘇生しました！

町医者A ピンピンしてますよ！

リン え・・・？

プル プル（へ？）

勇者A リンどうしたん？

勇者はトイレから帰って来た。

リン え・・・

プル プルププ（勇者A！）

勇者A おめーらお帰り！

リン 勇者A~~~~！

二人は勇者Aに抱きついた。

勇者A なんだなんだ、はは、そんなに抱きつくなよ

リン 勇者A・・・よかった・・・ほんとに・・・よかった・・・

プル プルプル〜！ベトベト・・・

勇者A こらプル、服がめっちゃめっちゃだろ・・・

勇者A ふ・・・

勇者A ・・・心配かけたな・・・

町医者A まあ私の迅速な治療のおかげですよ、ハハハ！

プル プルプル（てめえ・・・紛らわしいヒツパリ方しやがって〜！
！）

プルの触覚攻撃

町医者A に往復ビンタ炸裂！

町医者A に3のダメージ

町医者A ひえええ・・・

リン プルちゃん、そのへんにしてあげなさい。

プル プルプ（このやるゝ）

勇者A ははは！

勇者A ん．．．？

勇者A あれ、タケシは．．？

リン ．．．．．

プル ．．．．．

リンは一部始終を勇者Aに話した。

勇者A そんなことが．．

リンはヒドラの尻尾を勇者Aに渡した。

勇者A 俺のために．．これを．

勇者A 命がけで．．タケシが．．

リン タケシちゃんは私達を逃がすために．

プル ．．．．．

勇者A タケシ．

u
e

第14話 勇者A編 謎の宮殿！

タケシ うう・・・

タケシ ん・・・う

タケシは目を覚ました。

タケシ ・・・

タケシ ん・・・？

タケシ ・ここは・・・

タケシ どこだ・・・？

タケシ 俺は・・・死んだのか・・・

タケシ ということは・・・ここが天国か・・・？

タケシ いや・・・地獄なのか・・・

タケシはあたりを見回した。

タケシ （ベッド・・・）

タケシ （石の壁・・・どこかの建物の中のようなが・・・）

タケシ ・・・

タケシ う・・・

タケシ 痛・・・

タケシ この痛み・・・

タケシ 死んだはずなのに・・・やけに痛みやがる・・・

タケシ ん・・・これは・・・

タケシは痛みがある場所に視線をやった。

タケシ これは・・・包帯・・・

タケシ ……治療の跡・・・

タケシ 死人に包帯・・・？

タケシ ……

タケシ （窓があるな・・・）

タケシは静かに立ち上がると、窓に向かって歩き始めた。

タケシ ここは・・・

タケシは窓の外を眺めた。

タケシ 砂漠・・・？

窓の外は砂で覆われていた。

?? お目覚めになれましたか・・・？

タケシ ……！

タケシ お前は・・・？

?? 私はトーラスと申します。

亀のような魔物が立っている。

タケシ ……

トーラス あなたをお救いし、この宮殿へお運びしました。

タケシ ……！？

タケシ なに・・・

タケシ まさか俺は生きて・・・

トーラス 生きておられます、危なかったですが・・・

タケシ ……！

タケシ そうだ・・・

タケシ リンさん・・・プル・・・勇者A・・・

タケシ こうしてはいられない・・・帰らなくては・・・

タケシ 痛・・・・・・・・

タケシ く・・・

タケシは肩ヒザを地面に付いた。

トーラス まだ動く事は無理です・・・

トーラス ベッドにお戻りください・・・

タケシ 寝てなんかいらねーよ！

タケシ リンさんが・・・あいつ等が・・・待ってるんだよ！

タケシ 帰ってやらないと・・・

トーラス ・・・・・・・・

トーラス 時間が経てば・・・やがて彼らの記憶からあなたは消えるでしょう・・・

トーラス 人間とはそういうものです・・・

タケシ なんだと！？

トーラス そして・・・あなたにはあなたの使命があります・・・

タケシ 使命だと・・・？

トーラス ……

トーラス そうです・・・

トーラス あなたは分かっているはず・・・

トーラス この紋章を見ていただければ・・・

トーラスは上着のポケットから何かを取り出した。

タケシ こ・・・これは・・・！？

ue

To Be Contin

第15話 勇者A編 再会！

リン ……

勇者A リン、飯は？

リン ……

勇者A 飯い！

リン うるさい！外でラーメンでも食べてきてよ！

勇者A へいへい…

勇者A ……

勇者A （リンの奴…もうずっとこの調子だ…）

勇者A （プルの奴もなんか馬小屋でふさぎこんでるし…）

勇者A ふー…

勇者A （タケシの穴は大きいなあ…）

勇者A ラーメンたべにいこ…

勇者A は家をでた。

ガラガラー

勇者A おい、オヤジ！味噌ラーメンーっ！

店主A ヘイ、味噌ラーメンー丁！

店主A おまち！

勇者A ズルズル〜

勇者A ふ〜・・

勇者A （3日目だよ・・ラーメン・・・）

勇者A （たまには肉くいてえよ・・）

猫A ニヤア〜

勇者A ・・・ズルズル〜

勇者A しっしっ・・あっちいけ

猫A ニヤアアー！ー！！

勇者A ・・・・・

勇者A しゃーねーな・・

勇者A はポケットからニボシを取り出した。

勇者A ほらくえ・・

猫は美味しそうに食べている。

勇者A ふ……

勇者A （猫は気楽そうでいいなあ……）

勇者A ……ズルズル〜ゴクン

勇者A さてと……

勇者A オヤジ、ここに金おいとくぜ

店主A ありあしたー！

勇者A は店をでた。

勇者A ふ……

勇者A はらへったー……あんなんじゃ足りねえよ……

勇者A ……

勇者A はー……どすつかなあ……

勇者A （このまま帰っても、リンはしゃべらないし……）

勇者A （プルはへたれてるし……）

勇者A だりいなあ……

勇者A （パチンコでもよってくかなあ・・・）

?? お！勇者A！勇者Aじゃねーか・・・

勇者A ……！？

勇者A 誰だ…？

?? 俺だよ俺・・・

勇者A 俺って言われても・・・

勇者A 俺俺詐欺の人？

?? 違うわい！

?? 勇者高校で一緒だったシギトだよ！

勇者A ああ…………

勇者A えーと…………誰…？

シギト ははは・・・相変わらずお前記憶力悪いな・・・

シギト ……！

シギト これに見覚えはないか…？

シギト は長髪を上を持ち上げた。

勇者A ……!!

勇者A その1円ハゲ!

勇者A おお、お前は・・・辻斬りシゲトじゃねーか!!

シゲト やつと分かりやがったか!

勇者A 元気だったか?

シギト おうよ!

勇者A 懐かしいなあ・・・

勇者A 何年ぶりだろ

シギト 6年ぶりくらいかな

勇者A そんなに経ったか、早いなあ・・・

勇者A 今どこに住んでるんだ?

シギト このキル村から東に行ったオルカ村に住んでるよ。

勇者A そっかそっか

シギト お前は?

勇者A 俺はこの村に嫁と住んでるよ。

シギト ほー嫁さんもらったのか

勇者A うん

シギト いいよな〜俺もかわいい嫁さんほしいよ。

勇者A ははは！俺の嫁さんはテラ美人だぜ！

シギト いいなあ・・・

勇者A ……！

勇者A そうだ、お前おれんち寄っていかねーか？

シギト お、いいのか？

勇者A いいよ！こいよ！

シギト じゃあ行ってみるかな

勇者A よし、行こう！

勇者A （家の雰囲気も暗いし・・・）

勇者A （こいつ連れてけば、ちょっとはリンたちも明るくなるかもしれない・・・）

i
n
u
e

勇者A編 番外編 タケシのいない朝！

勇者A タケシ・・・

リン ……

プル プルププ（あいつは・・・最後まで勇敢だった・・・）

リン ……私がもうちょっとうまくやってれば・・・

プル プルププ（リンさん・・・でも・・・勇者Aも無事だったんだし・・・）

プル プルププ（タケシも・・・あの世で喜んでるはず・・・）
リン ……

リン 取り合えず家帰りましょ・・・

勇者A おう・・・帰ろうか・・・

三人はわが家に着いた。

プルは馬小屋へトボトボ入っていった。

ガラッ

ドン

グチャ・・・

プル プルプル（疲れた・・・）

プル プルプル（取り合えず・・・寝よう・・・）

プルは眠りについた。

リン ……

勇者A どうしたんだよ・・・リン

勇者A 元気だせよ・・・

勇者A 俺元気になったんだし

リン ……そうね・・・

リン でも・・・

リン タケシちゃんは死んだ・・・

勇者A ……

勇者A 寝るか・・・

リン ……うん

勇者A （はぁ・・・参ったなあ・・・）

勇者A ……

勇者A　zz

夜が明けた

勇者A　んゝ・・

勇者A　もう朝か・・

勇者A　リン・・おはよう・・

勇者A　いねえ・・

勇者は起き上がると台所の方へ向かった。

トントントントン・・

リンが調理場に立っている。

勇者A　おはようゝ

リン　おはよ・

リン　はい、お味噌汁

勇者A　おお、ありがと

リン　私・・また寝るね・・

勇者A　え・・さっき起きたばかりだろ・

リン 昨日中々寝れなくて・・

リン ごめん・

勇者A そつか・

リン あ・・・・

リン プルちゃんにエサお願いしてもいい・？

勇者A 任せとけ

リン 冷蔵庫に牛入ってるから・

勇者A おう・・

リン じゃおやすみ・・

勇者A おう おやすみ

リンはすごすご寝室へ歩いていった。

勇者A さてと・・

勇者A は牛を冷蔵庫から取り出した。

勇者A でけえ・・・

勇者A あいつこんなもん、毎日食ってるんか・・

ズル〜ズル〜

勇者Aは牛をひきずりながら、馬小屋へやってきた。

ガラ

キィ〜・・・

馬小屋の中は暗い。

勇者A　ん・・・プルどこだ・・・

勇者A　プル〜えさだぞ〜

勇者A　ぷるちゃんや〜い

プ〜ン

勇者A　ハエ・・・

勇者A　こらたかるなよ・・・

勇者A　くせーな〜・・・

勇者A　掃除たまにはせんと虫わくぞ・・・

勇者A　べちゃ・・・

勇者A　・・・！？

勇者A　なんか踏んだぞ・・

薄っすらと何か水溜りのようなものが足元に見える。

勇者A　なんだこれ・・？

水溜りのようなものから、何か伸びてきた。

勇者A　ん・・？

勇者Aの体にそれは障ると、水溜りがざわめき始める。

勇者A　ひえええ

勇者A　なんじゃこりゃああ・・

プル　プルププ（ん？おはよう・・勇者A・）

勇者A　プルかよ・・・！

勇者A　驚かすなよ！

勇者A　ハアハア・・

勇者A　（なんておつとろしい登場の仕方を・・）

勇者A　（ホラーじゃねーんだぞ・・このやる・・）

プル　プルププ（なんか用・？）

勇者A ほら・えさだぞ

勇者A 食え

プル・・・

ニユル〜・ガバ!グチャグチャ!バキ!グキ!ボキ!ゲロ
ゲロ〜ゴクン・

プル プルププ(・食った・さてまた一眠りするか・)

勇者A ・・・・

勇者A (俺なんてものを飼ってるんだ・)

勇者A ・・・・

勇者A さてと

勇者は馬小屋を出た。
太陽の日差しがまぶしい。

勇者A ・・・・

勇者A 暑くなりそうだ・

勇者Aは家に入っていった。

n u e

T o B e C o n t i

第16話 勇者A編 シギトの訪問！

勇者A 今けーったぞ！

勇者A ……

シギト ん？

シギト 留守か？

勇者A いや…

勇者A ちよつとな・いろいろあつて・

勇者A まあ入ってくれよ。

シギト お・おう・じゃ、お邪魔しまーす！

リン ……！？

リン ん…誰かお客様…？

リン ちよつといきなり…勇者Aったら…

リン こんな顔で出れるわけないのにー><

ガタタタタ！ドン！痛い…！

リンは化粧をしに急いで自室へ上がっていった。

勇者A ……（ニヤリ）

勇者A （ふふふ…）

勇者A （いくら…リンといえども…女）

勇者A （化粧もしないで…3日もふちぎこんでると…）

勇者A （男の客がくれば…）

勇者A （計画通り…！）

勇者A は親指を立てた

勇者A まあまあシギトよ、ここで座つといてくれよ

シギト 分かった。で…奥さんは？

勇者A 今戦争中だろうよ…

シギト は？

勇者A まあいいってことよ、ふふふ…

しばらくすると、リンが降りてきた。

リン こんにちははじめまして・

リン 勇者Aの家内のリンと申します。

シギト はじめまして、勇者Aの友人でシギトと申します。

リン 勇者Aのお友達ですか

シギト はい

シギトはリンをマジマジと見つめている。

シギト ．．

シギト ．．．

シギト 美しい．．

シギト あなたは女神さまのようだ。

リン え．．．

リンは顔を赤くしている。

勇者A シギト・今寒いばたつたぞ．．

シギト いやあ．．ほんとの事言っただけだよ。

リン そんな．．．

シギト リンさん、ほんとに美人じゃねーか

シギト このやろー！幸せものめ！

シギトは肩で勇者の胸を押した。

勇者A ははは・・・まあね・・・

リン シギトさんは、勇者Aとどこで知り合ったんですか？

シギト えっとですね、勇者高校って知ってますか？

リン いえ、知りません。

シギト そうですか、勇者を育てる学校でしてね。

シギト その同級生なんですよ。

勇者A そうなんだよ

リン へっ

過去の話に花が咲いている。

勇者A そうなんだよ、こいつが苛められてるときに

勇者A 俺がよ、助けてやったんだよ！

シギト バカ！俺が助けたんだろ

勇者A そうだっけ・・・？

シギト そうだよ！相変わらずお前記憶力悪いな！ハハハハ

リン アハハハハ！

勇者A （リン・・・楽しそうだ・・・）

勇者A （こいつ連れてきて良かった・・・）

勇者A そういやシギトよ

勇者A 今なにしてんだ？

シギト 俺か？

シギト 俺は今、フリーの傭兵してるよ。

勇者A ほー。

シギト どこかで魔物が暴れてたら、始末しにいたり

シギト 誰かの用心棒として雇われたり

シギト そういので、今食ってるよ。

勇者A ほー流れ者かゝかくいいな

シギト そうか？結構大変だぞ、毎回命がけだよ

シギト 今度もさ、ここから南の島に化け物が出るらしくってよ。

シギト 俺退治頼まれてるんだよ。

勇者A ほー報酬いくらなんだ？

シギト 10000000キル！

勇者A どひえええ．．

勇者A すげえな．．

リン すごい．．

勇者A 一攫千金だなあ．

シギト まあな．

シギト だけど．．それがちょっと問題あつてな．．

勇者A ん？

シギト ．．．．！

シギト なあ．勇者A．．ちよつと今回の仕事手伝わないか？

勇者A ええ？

勇者A 俺がか？

t i n u e

T o B e C o n

第17話 勇者A編 商談成立！

シギト 島を支配している「たこ坊主」って奴がターゲットなんだが・・

シギト そいつ一人なら、なんとかなるんだが・・

シギト 部下も引き連れてるんだよ・

シギト だから、ちょっと一人じゃ辛いんだ・・

シギト 勇者A、力貸してくれないか？

勇者A そう言われてもなあ・・

シギト 成功報酬は半々だ、どうだ・・？

勇者A 半々！？

リン ・・！

勇者A 5000000000キルか・・？

シギト そうだ

勇者A ・・・・・

勇者A (どうしよ・・・)

勇者A (5000000キルあれば・・・なんでも買えるぞ・・・)

勇者Aは皮算用をはじめた。

勇者A (えーっと・・・やっぱうまい飯かな・・・?)

勇者A (うまい肉たらふく食って・・・車買って・・・)

勇者A (でもやっぱ・・・家だよな・・・)

勇者A (でも、大きい家とか買っても、うち子供いないしな)

勇者A (やっぱあれだよ・・・船だよ船!)

勇者A (でっかい船買って、あちこちバカンスだよな!)

リンも皮算用をはじめていた。

リン (・・・どうしよう・・・)

リン (まず、宝石だわ・・・5000000キルもあれば・・・)

リン (ダイヤモンドのすごいのが買えちゃう・・・)

リン (そんでもって・・・ブランドものの服とか・・・新しい食器棚)

リン (洗濯機・・・大型液晶テレビ・・・ああ・・・なんでも買えちゃう・・・)

リン (そつだ!船を買おう・・・で南の島に行くの!・・・)

二人は途中までバラバラだが最後は一致している

勇者A エヘヘ

リン うふふ

二人はだらしない顔をしている。

シギト おーい・・・帰ってこーい・・・

勇者A は！

リン う！

二人は夢の世界から帰ってきた

シギト で・・・どうだ・・・？引き受けてくれるか？

勇者A 引き受けるのはいいけど、役に立てるかな？

シギト ふむ

シギト まあ、大丈夫だろう。

勇者A 自信ないなあ・・・

勇者A お前は仕事こなして、かなり強くなってそうだし

勇者A それに比べて俺なんか・

シギト 大丈夫、お前ならできる

シギト それに、まだ日にちはある。

シギト そうだ、俺と特訓しないか？

勇者A ええ？

シギト お前ならすぐ俺に追いつけるよ

勇者A そうかな・

シギト とりあえず、近くで一緒に魔物狩しないか？

シギト お前と久しぶりに暴れてみたい！

勇者A ふ・

勇者A よっしゃ！北にあるツール遺跡へ行こう。

勇者A このへんにしちゃ、強い魔物いるぞ

シギト よし決まりだ

シギト ただ、今日はもう遅いし

シギト 明日行こう。

シギト　じゃあ．．

シギト　俺は近くの宿屋に泊まるよ。

勇者A　え．俺んち泊まっていけよ

シギト　え．．

シギト　迷惑だろ．

勇者A　水臭いな．．勇者高校の仲間じゃねーか

勇者A　リンいい．？

リン　うん、1階の部屋空いてますから

リン　シギトさん、よければ、泊まって行ってくださいな

シギト　．．．！

シギト　じゃあ．お言葉に甘えて！

T
o
B
e
C
o
n
t
i
n
u
e

第18話 勇者A編 シギトの魔物講義！（前書き）

今日はご迷惑おかけしました。

（掛かってないかもしれないですが・）

勘違いしていました。

私は私の作品の完成度を煮詰めるだけです。

申し訳ありませんでした。

第18話 勇者A編 シギトの魔物講義！

リン 勇者A、シギトさん、お食事できました。

リン 今日はビフテキですよ。

勇者A おお、リン・・・最高！（ああ・・・久しぶりの肉・・・涙）

シギト 有難うございます。

シギト 急に押しかけてきて、泊まる場所だけでなく、食事まで頂いて・・・

リン いえいえ、遠慮せず食べてくださいね。

勇者A そうだ、食べ食べ！

勇者A ガブムシャムシャ・・・

勇者A うう・・・肉うめえ・・・ラーメンとは大違い・・・

シギト ラーメン？

リン ！？

勇者A そうなんだよ、ラ・・・

リンは勇者Aの足を踏んだ！

勇者A　ぐええ・・・

リン　そ・そうそう！シギトさんは魔物と一人で戦うんですか？

シギト　いえ、仲間がいますよ。

リン　へえ・

シギト　俺が野で捕まえた魔物なんですがね

シギト　人間は、色々人件費とかで金かかるもんですから

シギト　魔物はタダだし。

シギト　どうしてもコスト面で魔物を選んじゃいますね。

リン　ふん。

勇者A　ふむふむ、分かる分かる・魔物ってタダだもんな、

勇者A　ムシャムシャ・・・

勇者A　（飯代かかるけど・・・）

シギト　ただ、俺が最初に捕まえた魔物が

シギト　非常に使える奴でして。

シギト　今じゃ私の掛け替えのないパートナーです。

リン パートナーですか、仲いいんでしょうね。

シギト 仲いいっちゃいいかな

シギト まあ、そいつ以外にも3匹ほど、魔物たちいますがね。

勇者A ほお・・・いいなあ・・・3匹もいるのか・・・

シギト 勇者A、お前はとうなんだ？

シギト 仲間いるのか？

勇者A ああ・俺も魔物が一匹、今仲間にいるよ。

勇者A 人間は・・・信じられないしな・・・

シギト ……

シギト 色々あったんだろうな・・・

勇者A まあな・・・

シギト その魔物はどんなやつだ？

勇者A うーん・・・まあ・・・頼りになるっちゃなるけど

勇者A パートナーって・・・ほどじゃないかな・・・

リン 勇者A ひどい・・・

リン あれだけコキつかつてくるくせに・

勇者A だって・

リンは勇者Aを睨んでいる。

勇者A ……う

勇者A い…今の嘘嘘！めっちゃめっちゃ頼りになってるよ！

勇者A 荷物運びとか！雑魚魔物処理とか！癒し系ペットとして！

全然フォローになっていない。

シギト ははは、まあ最初のうちは、どんな魔物も弱いよ。

シギト でもな・

シギトはワインを飲むとテーブルに置いた。

シギト 死と隣り合わせの戦いで、戦闘を共にしているうちに

シギト 魔物たちはだんだん力をつけ、主人と魔物たちとの信頼も自然と深くなってくる。

シギト そして・信頼が絆とよべるものになる頃になると

シギト 魔物は本来の力以上のものを発揮するんだ。

勇者A ほお・

リン・・・

シギト まあ・・・そいつが誠実である事と

シギト 苦難に打ち負けないハートを持っていることが必須だな。

勇者A ほおほお・・・

勇者A はあまり理解できていない。

シギト 一番大切なことはその信頼に・・・

シギト 応えうる主人である事だ！

勇者A ふむ・

勇者A （信頼か・・・）

勇者A （俺・・・プルに信頼されてるのかな・・・）

勇者A （うーん・・・）

勇者A は悩んでいる。

シギト そうだ、一度お前のその魔物と会わせてくれないか？

シギト 会ってみたい。

勇者A え・・・？プルに？

シギト プルっていつのか

勇者A ゲロイムのプルだよ。

シギト ふむ、ゲロイムね

勇者A あはは・・・よわっちそうだろ・・・？

シギト いや・・・魔物の種類は関係ない。

シギト ハートが一番大切さ。

シギト 俺はそいつの目を見れば、どという奴だか大体分かる。

シギト 会わせてくれないか？

勇者A いいけど・

勇者A じゃあ、飯食べ終えたら馬小屋に行こう！

T o B e C o n t i n u e

第19話 勇者A編 嵐の前の静寂！

勇者A じゃちょっと、シギト馬小屋連れて行ってくるわ。

リン 行ってらっしゃーい！

シギト じゃ行こう。

二人は馬小屋に足を運んだ。

勇者A さてと

勇者A ぶるちゃんやーい

勇者A プル吉

勇者A 出ておいで

プル ……！？

プル プルププ（うっせーな・・・）

プル プルプル（眠いから、シカト・・・）

プル プルプル（・・・zzz）

プル プルププ（ん・・・？）

プル プルプププ（なんだ・・・この背筋の凍る感覚は・・・）

プル プル（う・！？）

プルの前に勇者が立っていた。

勇者A こら……立て……

勇者A ご主人様に……恥をかかせるな……

勇者Aはプルの触覚を引っ張りもちあげると
顔に剣の切っ先を当てた。

プル プルププ（ヒ……ヒ……殺さないで……）

プル プルププ（た・立ちますから……命ばかりは……）

プルはピョンと跳ね上がると地面に着地した。

勇者A それでいいんだよ、世話かけるな

プル プルププ（ふ……あぶね……勇者Aったら、キレル時早い
からなあ……）

シギト ほお、それがプルか……

プル プルププ（誰……？このおっさん……）

シギト いい面構えしてるな。

勇者A そうだろ、俺の魔物だからな。

シギト　なあ、どっか広場ないか？

勇者A　裏庭の向こうにあるよ。

シギト　そっち行かないか？

勇者A　なんで？

シギト　ここじゃ狭いしな

勇者A　そうだな、狭苦しいわな、臭いし

勇者A　いこっか

シギト　プルも連れて行こう。

勇者A　プル？

シギト　そうだ。

勇者A　最近散歩もさせてないし・

勇者A　運動させるか。

勇者A　プルも来いや！

プル　プルプル（へい！）

三人は広場に着いた。

外灯が3つあり、広場を所々照らしている。

シギト さてと・・・

シギト ……

シギト 言いくいんだが・・・

勇者A ん・？

シギト 勇者A・・・済まないが・・・お前の命もらっ！

勇者A ええ・・・

プル プルププ（なんだ・イキナリこのおっさん！）

シギト ……

シギト 問答無用！！

シギトは剣を抜くと、勇者Aとプルに剣の切っ先を向けた。

シギト いくぞー！！！！！！

勇者A ええ！？

n u e

T o B e C o n t i

第20話 勇者A編 強襲シギト！
(前書き)

第20話 勇者A編 強襲シギト！

シギト　いくぞ！！！！

勇者A　何の真似だよ．．

勇者A　おいおい、剣持ってないぞ俺！

シギト　死ね！

勇者A　おいおい！待てったら！

シギトの攻撃！

勇者Aはかろうじて避けた。

勇者A　く．．

勇者A　はえ．．．なんていう踏み込みの速さだ．．

勇者A　本気だな．．．．

シギト　今のを良く避けたな．

シギト　だが、剣が無ければ、勝負は見えてるぞ！

勇者A　（なんか知らないが．．本気でやらないとやられる．．）

勇者A　剣さえあれば．．

プル プルププ（待て！）

プル プルプププ（俺が相手だ！）

プルは勇者の前に割り込んだ。

勇者A プル・

プル プルププ（勇者A、俺に任せときな！）

勇者A ……

勇者A 頼む、俺は剣を取ってくる！

勇者A それまで持ちこたえてくれ・

プル プルププ（任せとけ！）

シギト ……次はお前が相手か・

プル プルププ（なめんなよ！）

プルは高速ではね始めた！

プルの攻撃！

特殊技 体当たり！

シギトはかわした。

シギト ……早いな・

シギト しかし、俺には当たらない。

プル プルププ（くっ・・・あれを外されるなんて・）

プルは高速で跳ね回ってかく乱する。

シギト む・・

シギト ふふ・・・早いが・・・それだけだ！

シギトの攻撃！

特殊技 無双流抜刀術！

衝円殺！

地面に剣を突き立てると、衝撃が

シギトを中心に円状に広がる！

プル プルププ（うわあ・・・）

衝撃が空中のプルを捉える！

プルに20のダメージ！

プルは上空に弾き飛ばされた。

プル プルププ（くっ・・・なんの！）

プルは体を蛸のように広げるとふわっと地面に着地した。

シギト・・・やるな・・・

プル プルププ（強い・・・技のキレだけなら勇者Aを上回っている・
・）

プル プルププ（どうする・・・）

プル プルププ（このままではやられる・）

シギト ふ・・・

シギト 確かに、お前の力見せてもらった・

シギトはそう言うと、空中に剣を放り投げ
回転しながら落ちてくる剣を鞘に入れた。

「カチーン」

プル プルプ（なんだ・・・？）

プル プルププ（もう終りか・・・？）

シギト 済まなかったな・

シギト お前に本気を出させるため・

シギト わざと勇者Aを攻撃したんだ・

プル プル（なに・・・？）

シギト お前は立派な戦力だ・

シギト 胸を張って良いぞ

プル プルププ（なんか良く分からんが・・・褒められてるのか・・・）

？
)

シギト　ハハハハ！

プル　プルププ（笑ってやがる・・・変な奴・・・）

勇者A　プル～！今いくぞ～この剣で！

プル　プル（勇者A・・・！）

シギト　おう、勇者Aおかえり！

勇者A　ん・・・？

シギトは一部始終を勇者Aに話した。

勇者A　なんだって・・・俺達を試したって・・・？

シギト　うむ

シギト　お前たちの絆見せてもらった。

シギト　ああでもない・・・

シギト　プルに本気を出させることは、出来なさそうだったんでな

勇者A　それにしちゃ～殺気籠ってたな・・・

シギト　いや～、つい、昔思い出しちゃってな・・・

シギト すまなかった・

勇者A ……

勇者A …相変わらずだなおめーは・

勇者A 行き当たりばったりなところも・

勇者A バカ強いところもな・

シギト それはお互い様だ

勇者A ふ・

勇者A ハハハハ

勇者A はゝ疲れた・緊張とけたら眠くなってきた。

シギト 寝るか・

シギト 明日の魔物狩楽しみにしてるぜ

勇者A おうよ

プル プルププ（なんか良く分からないが・寝よ・・ファ・・）

i n u e

T o B e C o n t

第21話 勇者A編 自己紹介！

夜が明けた。

勇者A う・・・まぶしい・・・

勇者A もう朝か・・・

勇者A （そっぴゃ・・・今日は朝からシギトと魔物狩いくんだっ
たな・・・）

勇者A もう起きないと・・・

勇者Aは一階の台所に向かった。

リン おはよう、勇者A

勇者A おはよ～

勇者A ねむい・・・

勇者A シギトは？

リン もう大分前に起きて、魔物たち呼んで来るって

リン 外に出て行ったよ。

勇者A ほお・・・

勇者A 気合入ってるな・・

リン はい、ベーコンサンド。

勇者A ありがと、リン

勇者A 顔洗ってくるわ

勇者A は洗面所に向かった。

勇者A バシヤ、つめてえ・・

勇者A ん・？

勇者A は洗面所の窓をみた。

黒い馬車がこちらに向かってきている。

勇者A 黒い馬車・ああ・あれシギトか・

勇者A 魔物たち、連れてきたんだな。

勇者A 急がなきゃな・・

勇者A は台所に戻った。

勇者A シギト帰って来たぞ、ムシヤムシヤ・

リン そうなんだ。

勇者A 食った食った

勇者A さてと・・

勇者A はパジャマを脱ぐと、防具を装備し、肩から剣を携えた。

勇者A ちょっとシギトに挨拶しに中庭行って来るわ。

リン はい

勇者A は家を出た。

シギトは馬車を止めて馬車の整備をしている。

勇者A おはよう、シギト

シギト おう、おはよ

勇者A はええな・準備が

シギト まあな、昨日魔物たちの乗った馬車、ホテルに置き去りにしてて

シギト 一応側近の魔物に携帯で連絡いれておいたものの

シギト 早めに顔見せておきたかったからな・・

勇者A ふむふむ、大所帯は大変だな・

シギト そうでもないさ

シギト 俺にとっちゃ奴等は家族も同然

シギト 奴等のためなら何でもできる。

勇者A すごいな。

シギト さてと．．

シギトは馬車を整備し終わると立ち上がった。

シギト 勇者A、お前に俺の仲間紹介するよ。

シギト プルも連れてこいよ。

シギト これから、戦いを共にする仲間だからな。

勇者A わかった。

勇者Aは馬小屋へ行った。

ガラ．．

キィ．．

プル プ．．zz（ムニャムニャ．．zz）

勇者A まだ寝てやがる．．

勇者A 一体一日何時間寝るつもりだ、こいつは．．

勇者A おら、起きろ！

プル プルプル？（もう朝．．？）

勇者A 朝だ、今からシギトの魔物たちとご対面だ。

勇者A お前もこい！

プル プルププ・・（へい・・）

二人は馬小屋をでた。

勇者A 待たせたな、シギト

シギト じゃ魔物たちを紹介しよう。

シギト お前たち出ておいで。

黒い馬車の後方扉から魔物たちがぞろぞろ出てくる。
魔物たちはシギトの横に並んだ。

シギト お前たち挨拶しなさい。

?? じゃ、私から・・

?? 私はシギト様の側近を務めるシャドーナイトのソリアでございます。

黒い鎧に覆われた強そうな魔物である。

?? ソリア、早く私も紹介してよ！

ソリア そう急かすな・

ソリア こいつは・・・

?? 私はピクシーのシルディ！よろしくね！キャハハハ！

ソリア む・・・俺が言う前に・・・

髪は栗色で長髪、金色の目、白いブラウスに、短いスカート
外見は普通の人間のかわいい女の子のようだ。

勇者A ん？この子、魔物？

シルディ そうよ！魔物にみえない？

勇者A うん、見えない。

勇者A だって、ピクシーなら羽があるはず・

シルディ 良く気づいたわね！えらいえらい！

勇者A （タメ口かよ・・・女の魔物は苦手だ・・・）

シルディ 今は魔法を使って羽は隠しているの！

シルディ よろしくね！かつこいいおにーさん！

勇者A ええ・・・俺が？

シルディ うんうん！キャハハハ！

勇者A ……

ソリア シルディ、その辺にしておけ…

?? 俺はダークベアの熊五郎だ。

熊五郎 勇者Aとやら存分に戦おうぞ！

ごつい体をした筋肉隆々の熊系魔物、性格は体育会系のような。

勇者A おう！（こいつはやりやすそうだ…）

ソリア 最後に…あれ…？

シギト ん・？といえばゾルがないな…

?? ……いるよ

ソリアの影から何かが浮かび上がってくる。

ソリア お前…そんなところに…

ゾル ……

ゾル ……魔道使いのゾルだ

勇者A （危ない空気が漂ってるな…）

黒いローブに銀色の飾りを首から提げていて、左腰に剣を携えている。

髪の毛の間から角二つが後ろに弧を描くように生えている。
鋭い眼光をした魔物だ。

シギト よし、こちらの紹介はこんなもんだ

シギト 勇者Aも自己紹介してくれ

勇者A ええ・・・

勇者A (なんかごつい奴等ばっか仲間になっているな・・・)

勇者A (それに比べて・・・)

勇者Aは自分達の紹介を省いて欲しそうだ。

勇者A ええっと、俺はシギトの旧友勇者Aだ！

勇者A まーよろしくな・・・

ソリア よろしく

シルディ へーシギトの友達なんだ！よろしく！

熊五郎 よろしく、勇者A！

ゾル ……よろ

勇者A でー、こっちが・プル

勇者A 俺の仲間のゲロイム、プルだ！

勇者A あれ……

プルの姿がない。

勇者A あれ……どこいきやがった！

勇者A は庭に生えている木の方に目をやった。
木の隙間から触覚が見えている。

勇者A ……

勇者A こら……

プルは見つかった。

プル プルプル（だって怖いんだもん……）

勇者A 俺に恥をかかすなと言ってんだろ。

勇者A こい！

勇者A はプルの触覚をもつと、シギトたちのところまで引きずった。

勇者A ほら、挨拶しろ。

プル（なんか……この人たち……すごいんですけど……）

プル（う……初対面の印象が大事だ……ケツパレ・俺！）

プル プルププ（俺が・・・プルだ！よろしくな・・・フフ・・・）

シルディ あら、この子、人間語しゃべれないんだ。

シルディ うち全員しゃべれるのにね。

シギト 俺が教育したからな・

シルディ そうだっけ！

シルディ うゝん・・・

シルディはプルをマジマジ見つめている。

シルディ んー、ちょっと臭いけど、結構かわいい目してるね！

シルディ よろしくね！プル！

プル ！？

プル プルプ（よろしく・・・）

プル （・・・俺がかわいい？・・・初めて言われた・・・）

プルは感動していた。

プル プルププ・・・（かわいい・・・俺が・・・かわいい俺・・・フフフ・・・）

プルは自分の世界に入っている。

熊五郎 プルよろしくな！

ソリア よろしく。

プル プ・？プルプル（あ・よろしく！）

ゾル ……よろ

シギト さてと、一通りの自己紹介終わったな。

勇者A じゃあいくか！トール遺跡へ！

T
o
B
e
C
o
n
t
i
n
u
e

第22話 勇者A編 魔界の存在！

トール遺跡に着いた。

シギト ここいらで、狩るか

勇者A うん。

シギト 今日の戦闘員は誰にするかな・

シギト よし、俺、ソリア、ゾルで行こう。

シギト 他の奴は馬車で見学だ。

熊五郎 分かった。

シルディ そんな〜・・

シルディ せっかく私の強いところ、見せようと思ったのに・・

シギト お前が強いのは俺が分かっているぞ。

シルディ うう・・仕方ないわね

シルディ 頑張ってねみんな！

勇者Aはその様子を羨ましそうに見ていた。

勇者A いいな〜・・・どいつも強そうな奴ばかりで・・

勇者A しかも、余ってるきたもんだ・・

シギト お前も魔物の仲間増やせばいいだろ。

勇者A そうなんだけど・・

勇者A 俺のそこは、嫁さんと二人で暮らしてるからな

勇者A あんまり連れてくると、嫌がられそうだな。

勇者A エサ代もバカにならないし。

シギト 所帯もちの弱みだな。

勇者A ははは・

シギト 今日は稼いで帰ろうや

勇者A よし、やるか

トールABCが現れた。

シギト くらえ！

シギトの攻撃！

トールAに90のダメージ
トールAは倒れた。

ソリア ・・・・ふん！

ソリアの攻撃！

トールBに50のダメージ

トールCの攻撃！

ゾルは避けた。

ゾル 暗黒の精霊達を・・・我に力を貸し与えたまえ・・・

ゾルの攻撃！

特殊業 ダークストーム！

暗黒の衝撃が敵を襲う。

トールBに100のダメージ

トールCに98のダメージ

敵は全滅した。

経験値1200ポイント、1000キル、トールの木刀を手に入れた。

シギト 弱いな・・・

ソリア・・・

ゾル・・・話にならん

トールGが現れた。

トールGの攻撃

勇者は50のダメージを受けた。

勇者Aの攻撃

トールに30のダメージ

プルの攻撃

特殊業 体当たり

トールGに40のダメージ！

トールGの攻撃！

勇者に50のダメージ！

勇者は瀕死だ！

プルの攻撃

特殊技 体当たり！

トールGに40のダメージ

トールGは倒れた。

経験値400ポイント、350キル、トールの木刀を手に入れた。

勇者A うう・・・死ぬ・・・助けて・・・

シルディ あらら・・・ヒーリング！

勇者Aは全快まで回復した。

勇者A ハアハア・・・

プル プルプル（うう・・・ここつええ・・・俺達には荷が重い・・・）

勇者A きついな・・・それに比べてシギトたちのあの余裕さ・・・

シギト うゝん・・・

シギト お前たち、武器も防具も

シギト もうちよつと、良いの買ったほうがいいな。

勇者A そういえば・・・ずっと同じ武器と防具使ってるな・・・

シギト 確か馬車に・・・

シギト あった・・・

シギト 俺のお古だけど、これやるよ。

シギトはバスタードソードと高級防具一式を勇者に与えた。

勇者Aは攻撃力、防御力共に一気に上がった。

プルは防御力が上がった。

勇者A おお・・・すげえ・・・ありがとシギト！

夕方まで狩りは続いた。

勇者A よっしゃー！

トールXVは倒れた。

プル プルププ（ざまーみる！）

シギト お見事！

勇者A この剣すごいな、それに防御もあがったせいか・

勇者A 全くダメージもらわなくなったよ。

プル プル（俺も俺も！）

勇者A たんまり稼いだ。暗くなってきたし、そろそろ帰んないか？

シギト そうだな・・

勇者達はトール遺跡を後にした。
馬車を平行させながら走らせている。

勇者A 今日はありがとな、シギト

シギト 礼などいらないよ

シギト お前の強さ見せてもらった。

シギト かなり腕をあげたな。

勇者A ・・お前に言われたくないな・・ははは・・

勇者A 勇者高校のときは、ほぼ互角だったのに・・

勇者A かなり差が開いたよな・・

シギト ・・・・

シギト それはそうと・・

シギト お前・・魔物ってどこから来たと思う？

勇者A え・・？

シギト 魔物は元々、この世界には存在しない奴等なんだよ

勇者A そうなのか・？

シギト うむ

シギト この世のどこかに、次元の歪があつてな。

シギト その歪から魔物たちはこちらへやってきたそうだ。

勇者A ほお・

勇者A じゃあ、魔物たちは本来どこにいる奴等なんだ？

シギト 魔界・・・・

勇者A ？

シギト 魔王と呼ばれる者が支配する闇に覆われた世界。

勇者A へ・・プルに聞いたら知ってるかな？

シギト 知らないだろ・歪は5000年前に閉じたらしい。

シギト 今いるこの世界の魔物はほとんど、その頃やってきた奴等の子孫だ。

勇者A へっ・・・

シギト まあ・・・俺もよくは知らないんだがな・

勇者A そうだったのか・・・

勇者A 魔物がねっ・・・

勇者A ・・・・

勇者A ん・・・？

勇者A あれ・・・？

勇者A 村の方角に煙が・・・

シギト ！？

シギト あれは・・・

シギト 急ごう！

勇者A 一体なにが・

勇者A (リン・・・)

ue

T
o
B
e
C
o
n
t
i
n

第23話 勇者A編 炎！

勇者A達はキル村に着いた。

勇者A …一体…なにが…リン…

シギト む…お前のうちの方だ！

勇者A え…

勇者A （リン…！）

プル プルプル（リンさん…！）

勇者Aたちは家に着いた。
家が燃えている。

勇者A これは…！？

リン 勇者A…

リンは泣いている。

勇者A な…なにがあつたんだ？リン

リン ……

リン 私が帰ってきたら、燃えてたの…

勇者A なんだって・・・

シギト 魔物の仕業か・・・？

消防士A どいたどいたー！

消防士A 今から火消すから

消防士A みんなあぶないから下がって！

警察官A ほらほらさがって！

勇者A ここ俺のうちなんです！

警察官A そうか・・・取り合えず鎮火するまで

警察官A まっててや

村人A うおゝ燃えている・・・火事だ！

村人B すごい・・・カシャカシャ

村人C ウーーン

隣人A どうしたんですか？リンさん。

リン それが・・・帰ってきたらこんなことに・・・

隣人A あら・・・なにが原因なんでしょうね・・・

野次馬 A B C D なんだ・・・なんだ・・・ザワ・・・ザワ・

勇者 A の家は人だかりができています。

警察 A みんな下がって！下がって！

消防士 B オーライオーライ！

消防士 A 家がくずれるぞ・・・

ガラガラ〜〜ドシャン！！

警察 A b 1 2 3 地点火事です、過失火のようです、どうぞ！

勇者 A ・・・

リン ・・・

シギト ・・・

1 時間後――

家は鎮火した。

家のあった場所は荒野になっている。

警察 A ええ・・・現場検証の結果、コンセントの接続部分にホコリが接触し

発火して家に燃え移った火事のようなですね。

警察 A ちゃんと掃除しないとだめだよ

リン ええ・・・

警察A 過失による火事として処理しますね。

警察A じゃあ後ほど・・・

シーーーーー

警察や野次馬達が帰ると辺りに静けさが戻る。

隣人A リンさん・・・気しっかりもつのよ・・・

リン・・・はい・・・

勇者Aは真白になっている。

シギト・・・勇者A・・・気落とすなよ・・・

シギト・・・取り合えず・・・俺ホテルに戻るよ・・・

シギト なんか困った事あったらいつでも、ここに連絡くれ・・・

シギトは勇者Aに携帯の番号の書いた紙を渡した。

シギト・・・じゃあまた・・・

シギトはホテルに帰っていった。

プル プルププ・・・（俺の家が・・・俺の馬小屋が・・・）

リン ウェーン！全部私のせいなんです、ごめんなさい

リン ごめんなさい・・・ウェーン・・・

勇者A

勇者A

勇者A なんなの・・・

n
u
e

T
O
B
e
C
o
n
t
i

第24話 勇者A編 仕事！

10日後

勇者Aは荒野になった土地を二束三文で売り払うと
6畳一間のアパートを借りた。

リン 朝ごはんよ・・

勇者A おう・

リン はい、ベーコントースト。

勇者A ありがと・・

勇者A ムシヤムシヤ・・

リン ゴミ出してくるね。

勇者A うん・

リンはゴミ出しに行った。

勇者A (はゝ・・なんかあの火事以来・・)

勇者A (全てが真白に・・)

勇者A (全部消えた・・)

勇者A ……

勇者A （貯金も残り少ないし・・・）

勇者A （魔物狩でちょこちょこためてるが・・・）

勇者A （家賃に消えるだろうし・・・）

勇者A は窓を開けると、外に止めている馬車を見た。

勇者A （苦しいなあ・・・プルのエサ代も稼がないと・・・）

勇者A （あいつの馬小屋ないから・・・馬車に住んでもらってるけど・・・）

勇者A （この生活も限界あるな・・・）

リン ただいま・・・

勇者A おかえり・

リンは畳の上に静かに座り、果物ナイフを手にもつと、テーブルの上でリンゴの皮をむき始めた。

リン シャシャシャ・・・

リン はい、リンゴ。

勇者A ありがとう！

勇者A うん、うまい！

リン うふふ・

リン ・・・・

リン 勇者A・・・こんな事になって・・・

勇者A ！？

勇者A もういいって・・・謝らなくて良い・

勇者A 焼けたものはしゃーないよ・・・

リン ごめんね・・・うう

リンは泣いている。

勇者A 泣くなよ・・・

リン だって・・・うう

勇者A ・・・・

勇者A （リンに・・・いつまでも、こんな生活させておくわけには行かない・・・）

勇者A （俺は・・・夫であり、大黒柱なんだ・・・）

勇者A （・・・仕事探さないとなあ・・・）

勇者A ……

勇者A ！

勇者A （あ…そうだ…）

勇者A （この間のシギトの仕事！まだいけるか聞いてみよう…）

勇者A ちょっとトイレ行ってくる。

勇者A はトイレのなかに入ると、シギトの携帯にかけはじめた。

勇者A x x x 9 っと

勇者A ……

プルルプルルカチャ…

シギト もしもし

勇者A おお、シギト、俺だよ、勇者Aだよ

シギト 勇者Aか

シギト どうだ、落ち着いたか？

勇者A まあ…落ち着いたっていや、落ち着いたが…

勇者A 今、土地売り払って、キル村でアパート借りてリンと住ん

でるよ。

シギト ふむ

勇者A あのさあ・・・

シギト なんだ？

勇者A この前の仕事の話なんだけど・・・

シギト ああ・・・

シギト あの仕事はもう済んだよ。

勇者A そつか・・・

シギト お前呼んでもよかったんだが・・・

シギト 立て込んでそうだったんでな・・・

シギト 俺達でなんとか始末した。

シギト 済まなかったな・・・

勇者A いや・・・いいんだよ・・・

勇者A ごめんな・・・忙しいのに・・・

勇者A じゃあ・・・切るな・・・

シギト 依頼して来た顧客と現場で落ち合うとき

シギト 魔物たちだけを向かわせるわけにはいかないんだ。

シギト だからと言って、いちいち全部俺が行ってたんじゃ大変だからな

シギト 人間のパートナーが欲しいんだ。

勇者A ほおほお

シギト でさ、俺もどこの馬の骨とも分からない奴を雇いたくないんだよ。

シギト それに・・・この仕事は・・・

シギト 魔物を統率できる力、即ち、信頼、協調性・・・経験、腕、ハート

シギト そして何より、魔物たちの中でリーダーシップを取れる者でなければ務まらない。

シギト それがお前にはあると思うんだ。

勇者A え・・・

シギト 慣れないうちは、大変だろうが・・・

シギト 仕事を引き受けるうちに分かってくると思う。

シギト どうだ・お前、俺の事務所で働いてみないか？

勇者A ええ・・・！？

シギト お前今大変だろう・・・リンさんだって・・・

勇者A まあ・・・

シギト 引き受けてくれないか・・・？

勇者A (・・・・・・・・こ・・・これは・・・・・・・・またとないチャンス・・・)

勇者A (棚から牡丹餅・・・引き受けないわけがない・・・！)

勇者A (これしか・俺達一家が生きる道はない！)

勇者A シギト・・・いや、シギト社長！働かせてください！

シギト そうか！引き受けてくれるか！

シギト 嬉しいぞ！

シギト お前ならやれる！

シギト ハハハハ！

勇者A ははは・

シギト じゃあ、明後日PM2時、事務所オープンを祝ってパーティ

イ開くんだ。

シギト その時に落ち合おう。

シギト うち時間厳守だから、そのへんは頼むぞ。

勇者A わかった・いや、分かりました！社長！

シギト じゃ後ほどな

ガチャ・・ツーツ

勇者A ウウツシャアアアアアアア！

勇者A なんか希望みえてきたぞ！！

勇者A 早速リンに知らせないと！

T o B e C o n t i n u e

勇者A 俺の仕事は事務所の魔物たちの統率役ってとこかな。

リン なるほど

リン 勇者Aならぴったりね！

勇者A そうか？

勇者A で、明後日シギトの事務所オープンのパーティに出向いてくるよ

勇者A そのとき正式に雇ってもらえる予定さ

リン そっか

リン 勇者Aならきつとやれるよ！

勇者A ……

勇者A 俺は・やるよ！

勇者A リンのために・

リン ……

リン 勇者A……

勇者A リン！ガバツ！

リン 勇者Aったら昼間っから……ん

夫婦の営み中です。自粛します。

その頃

プル プルププ（暑いよ・・・）

プル プルププ（馬車のなかで、野晒し生活10日目継続中・・・）

プル プルププ（太陽の日差しがきついぜ・・・）

プル プル（夜は野犬どもに怯え・・・）

プル プル（昼は灼熱の太陽の日差しが・・・）

プル プル（馬車の中をサウナ状態にする・・・）

プル プル（飯も牛から鶏に変わった・・・）

プル プルププ（しかし・・・ここは我慢だ・・・）

プル プルププ（家が焼けて・・・リンさんも勇者Aも大変なんだ・・・）

プル プルププ（俺だけ弱音吐くわけにはいかねえ・・・）

営み終了

勇者A さてと・・・

勇者A 俺プルにこの事言ってくるよ。

リン そうね．．

リン プルちゃんもかなり・我慢の生活続けてるから

リン 勇者Aに仕事が見つかったって分かったら

リン 喜ぶわ

勇者A そうだな．．

勇者A 俺がシギトの事務所でいっぱい働いて

勇者A 沢山稼げば、また新しいマイホームも夢じゃない！

勇者A アイツにも立派な馬小屋．．いや．．ペットルームも作ってやれるかもしれない。

リン 頑張つて、勇者A！

勇者A 任せとけ！

勇者A じゃプルんところ行ってくるわ。

勇者A はアパートを出て、馬車のある場所へやってきた。

勇者A ぶるちゃんやゝい．

プル プルププ（お・勇者A久しぶり！）

勇者A やつれたな・・

プルは一回り小さくなっている。

プル プルププ（大丈夫さ・・）

勇者A すまないなあ・・ここしかお前置いとけるとこなくなつてよ・

プル プルププ（気にすんな！）

勇者A まあ・・そんなお前に朗報だ

勇者A 俺に仕事が見つかった！

プル プルププ（なんだって・・！）

勇者A オルカ村のシギトの事務所で働くことになったんだよ

プル プルププ（おお・・すげー・・）

勇者A これでまとまった金がいってくるはずさ

勇者A そしたら、おめーにうまい物も食べさせられるし

勇者A バンバン稼いだら、新築の家買って

勇者A このアパート暮らしてもおさらばだ・

プル プルププ（すごい！勇者A！）

勇者A ……

勇者A そうだ！

勇者A 明後日、俺はシギトの事務所に行くんだが

勇者A おめーもこいよ！

勇者A パーティやるから、何かいいもん食わしてもらえるかもよ？

プル プルププ（行く行く！）

プルはピョンと跳ねた。

勇者A 行きたそうだな

勇者A じゃあ、明後日楽しみにしといてくれ

勇者A んじゃ俺はアパートに戻るわ。

プル プル（またな！）

プル ……

プル プルププ（風が・・・変わってきたぜ・・・）

プルは馬車から身を乗り出すと、夏の太陽をまぶしそくに眺めた。

T o B e C o n t i n u e

第26話 勇者A編 波乱の幕開け！

シギトの事務所パーティの当日

勇者A なあ、リン

リン なに着ていけば良い？

勇者A やっぱパーティだし、タクシードとかかな？

リン うーん、困ったね。

リン 火事で全部焼けちゃったし、時間もお金もないしね。

勇者A うーん．．

リン まあ、その辺はシギトさんも分かってくれるでしょ。

リン この間火事でやけたばかりなんだし

勇者A そっか、ならいつもの格好でいいか。

リン ちょっとまって．．

リン これ．．

リン 私が急いで作ったマントなの

リン これつけていけば、少しはましに見えるかも．．

勇者A おお、かつこいい！白いマント、裏地の濃いグレーもいいな

勇者A ありがとな・・・リン！

リン どういたしまして

リン ああ、勇者Aもう出ないと間に合わないわよ。

勇者A ほんとだ・・・急がなきゃ・・・

勇者A じゃちょっと留守にするけど

勇者A 夜には帰ってくるから

勇者A それまで、待っていてくれ。

リン うん。頑張ってるね、勇者A！

勇者A まかせとけて！

リン ちゅミ

勇者A ふ・・・

勇者A じゃ行ってくる。

リン 行ってらっしゃーい！

勇者A はアパートを出た。

勇者A プルッ

プル プルププ（へい！）

勇者A おお、久しぶりにちゃんと起きてるじゃないか

プル プルププ（なに言ってるんですかい、今日は初陣の日じゃないですか）

プル プルププ（気合いれてくれよ！勇者A！）

勇者A なんだかお前気合入ってるな。

勇者A 俺も気合いれなきゃな・・・

勇者A よっしゃ！オルカ村へ向かって出発だ！

プル プル（おう！）

勇者Aは馬車を走らすと、キル村を後にした。

勇者A こっち方面は初めてなんだよなッ・

勇者A 道分かるかな・

馬車は草原を走り抜けていく。

勇者A 綺麗なとこだな。

勇者A 遠くに何かみえる・

プル プルプル（あれは村だ！）

グリ熊A B C Dが現れた。

勇者A なにゝ後ちよつとつて時に・・

プル プルプル（グリ熊って・・昔かなり苦戦した奴じゃ・・？）

勇者A 俺達はある時とは違う！

プル プルプル（うん！）

勇者A いくぞ！

勇者Aの攻撃

特殊技 カマイタチ

グリ熊Aに50のダメージ！

グリ熊Bに48のダメージ！

グリ熊Cに52のダメージ！

グリ熊Dに49のダメージ！

プルの攻撃

特殊技 火炎放射！

グリ熊Aは倒れた。

グリ熊Bは倒れた。

グリ熊Cは倒れた。

グリ熊Dは倒れた。

敵は全滅した。 3000ポイントの経験値、3000キル、熊の手をまきあげた。

勇者A よっしゃ！一網打尽！

ブル プルププ（ふふふ・・余裕でっせ）

?? ほお・・中々やるな・・

勇者A ん？誰だ？

?? だが・・そんな程度じゃ・・まだまだ話にならんな・・

ブル プルププ（だ・誰だ・・？）

岩の陰から浮かび上がるように、何者かが現れた。

ゾル 久しぶりだな・・・

勇者A お前は・・確か・・シギトの魔物の一人・・

ゾル ・・・・・ゾルだ。

勇者A ゾル、どうしたんだ？こんなところに

ゾル ・・・・・シギトの奴が

ゾル お前を案内してこいっていうんでな・・・

ゾル ・・・・・いい迷惑だぜ・・・

勇者A ……

プル プルププ（なんだこいつ・・・？）

ゾル ……俺は……

ゾル ……お前なんか歓迎してないぜ……

勇者A なんだと……

ゾル ……村へ来る途中……

ゾル ……魔物に襲われて……

ゾル ……死ぬってことはよくある話だ……

ゾル ……事故で済む……

勇者A なにが言いたいんだ……ゾル！

プル プルププ（やろうつてのか！）

ゾル まあ……そう熱くなるなよ……

ゾル 例えさ……

ゾル 取り合えず……シギトに頼まれてるからな……

ゾル 案内してやる……

ゾル 付いて来い . . .

ゾルは背中で折りたたんでいた、漆黒の翼を伸ばすと
村の方へ羽ばたいていった。

勇者 A いくぞ .

ブル プルププ（へい！）

勇者 A

勇者 A （思ってたより・大変な仕事になりそうだな・・）

T o B e C o n t i n u e

第27話 勇者A編 有限会社「冥府魔堂」！

勇者Aは魔物ゾルを追っている。

勇者A ちよっと・・早すぎるってアイツ・・

プル プルププ（案内になってね〜）

勇者A もう、あんなに遠くに・・

馬車は猛スピードを保ちながら、村の入り口を駆け抜けた。

村子供A ボールよこせよ！

村子供B ほらよ・・

村子供A わ・・わわ・・

勇者A うわ〜・・子供！止まらねえ・・

プル プル〜（ひ〜）

その刹那、馬車の前方に黒い陰が突然現れる。

?? ふん！

何かバリアのようなものが馬車の勢いを吸収する。

馬車が止まった。

村子供A ひくく・助かった・

村子供Aはおもらししている。

勇者A ふえくく危ない危ない・

プル プルププ（危なかった・）

?? 勇者A殿、村ではもう少し減速してもらわないと・

勇者A ん・・？

?? お迎えに上がりました。

勇者A お・・お前は・・シギトんとこの魔物の・・えっと・

ソリア ソリアでございます。

勇者A そうそう、ソリア！

勇者Aは名前は覚えるのは苦手だ。

勇者A ソリアく、あんたんとこのゾルがよ

勇者A 付いて来いっていうんだけど・

勇者A すげえ速さで飛んで行くからさ・

勇者A スピードついつい出しすぎちゃったんだよ・

ソリア く・・・ゾルの奴・・・

ソリア すみません、勇者A・・・

ソリア あいつはちょっと・・・うちの中じゃアレな奴でして・・・

勇者A うん、確かにアレな奴だな。

プル プルププ（アレってなんだ・・・）

村子供B がやってきた。

村子供B おい、おっちゃん！

村子供B あぶねーじゃん！

勇者A ああ・・・すまね・・・面目ない・・・

プル プルプル（ごめんよ、チルドレン・・・）

村子供B 村子供Aが危うく死ぬところだったじゃねーか！

勇者A はポケットに手を入れた。

勇者A この飴玉やるから・・・許してくれ・・・

村子供B そんなにいらねーよ・・・出すものだしな・・・

勇者A ええ・・・

プル プルププ（こら、ガキ！調子にのんな）

ソリア ……

ソリア 済まなかったな子供達よ・

村子供 B ！？

村子供 B あ・・ソリア様・・

村子供 B ソリア様、こいつら知り合いなんですか・・？

ソリア そうだ・・大事な客人だ。

村子供 B ……

村子供 B 〜〜〜

村子供 B 今日は勘弁してやるよ！じゃ・・ソリア様またね！

ソリア うむ、またな、気をつけて帰れ。

村子供 B はい！

村子供達は去っていった。

勇者 A うう・・助かった・

プル プルププ（ふー・）

ソリア ま・・・まあ・・・取り合えず事務所まで案内しましょう。

勇者A たのんます。

勇者A達は事務所に着いた。

ソリア ここが有限会社 「冥府魔堂」の事務所でございます。

事務所は二階建てで、入口に曇り硝子を使用した開閉式のドア
玄関の外側の部分は広く、おしゃれなタイルが地面に隙間なく並んで
いる。

入り口の両脇には大理石の太い柱が、建物から突きでた屋根を支えている。

建物に使われている石材は高級そうである。

勇者A すげえ・・・なんて立派な事務所なんだ・・・

ソリア すこいでしょ・・・

ソリア 前ここに店を構えてた主人が引っ越したんで

ソリア シギト様が即金で買い取ったんですよ。

プル プルププ（ここ・・・俺入って良いのかな・・・）

ソリア ええつと・・・

ソリア プル君、君は魔物ルームが裏にあるので

ソリア パーティの間はそこで待っていてくれるかな。

ソリア 魔物は私とシルディ以外は参加できないんだよ。

ブル プルププ（やっぱりね・・・）

ソリア 勇者Aさん、パーティは地下1階のゲストルームで開かれます。

ソリア もう準備はできています。

ソリア さあ行きましょう。

こちらへ誰かがやってくる。

熊五郎 お、勇者Aどの来ましたか

勇者A お、熊五郎！久しぶり！

勇者Aは気の合いそうな熊五郎の事は覚えていた。

熊五郎 俺はあんた来てくれて嬉しいよ！

勇者A おお・・・ありがとう！

また、誰かやってきた。

シルディ わわ・本当にきた〜！

シルディ シギトが言ってた事は本当だったのね。

シルディ 嬉しい！

シルディ 最近退屈だったのよね〜！

シルディ 勇者A、有限会社、冥府魔堂へようこそ！

シルディ 歓迎するわ！

勇者A ははは・・・シルディよろしくな

シルディ あら、プルもきたのね！

プルプル プルプル（うん、飯目当てで・・・）

プルプル プルプル（でも・・・）

プルはしょげている。

シルディ ははーん！パーティに参加できないくちなね！

シルディはプルに顔を近づけた。

シルディ 大丈夫・・・私が目を盗んで、食べ物運んできてあげるから・・・ボソボソ

プル プルプル（シルディ・・・ありがと！）

熊五郎 じゃあプル、お前は俺と来てくれ。

ソリア　じゃ勇者A、パーティー会場へ行きましょう。

勇者A　へい！

第28話 勇者A編 パーティ！

勇者Aとソリアはパーティ会場のあるゲストルームへやって来た。

ソリア 勇者A、少しここで御待ちください。

パーティ会場は大きめの丸テーブルが3つ設置されている。

テーブルには淡い青の布が敷いてあり、

その上にグラスや、ワイン、食器類

ローストチキン、サラダetcが所狭しと置かれている。

窓には金縁の赤いカーテン、天井には金色のシャンデリアが見える。

既に、その場にはシギトの知人が来ていて、盛り上りを見せている。

ソリアはシギトに近付き、耳元に顔を近づける。

シギト ハハハ！

シギト ん？

ソリア 勇者A様がお出でになりました。

シギト おお・・・

シギト 分かった・・・すぐ行く。

シギト みなさん、ちょっと私は、知人を向かえに行ってきますね。

シギトは軽く会釈をすると、その場を抜け出した。

入口付近に待たされている、勇者Aのもとへやってきた。

シギト 勇者A、良く来たな！

勇者A おおシギト！

勇者A なんかえらい盛り上がってるな・

シギト 俺の知人や親類、従業員が集まってるからな。

シギト 内輪のパーティなんだ。

勇者A そうなのか

シギト こっち来てくれないか？

シギト お前を紹介したい。

勇者A ええ〜・・なんか緊張するな・・

勇者A 俺こういうとこ、あんまり行ったことなくてさ・

シギト これも経験だ。

シギト これから、こういう機会は何度もある。

シギト 慣れて欲しい。

勇者A 分かった・・

シギトは勇者Aを連れて知人達の元へやって来た。

シギト　みなさん、こちらがさっき話した、私の高校時代の友人であり

シギト　この事務所で私のパートナーとして活躍してもらった勇者Aです！

勇者A　は・・はじめまして・私が・が・勇者Aでございます。ハイ。

勇者Aはパニくっている。

??　あら・勇者Aちゃん、お久しぶり！

??　覚えてるかな？シギトの母のパミヤよ

勇者A　ん・・？ああ・・パミヤおばさん！！

勇者A　お久しぶりです！

パミヤ　お久しぶりね

パミヤ　なんか・昔より良い男になったわね！

羽帽子に目がチカチカするドレスを着た派手なおばちゃん。

勇者A　え・・ええ、そうですか？

パミヤ　なんていうか・・顔立ちが丸くなって、落ち着いた感じが

するわ。

パミヤ 昔、シギトとうちに遊びに来てたときは

パミヤ なんか・・・目が怖くって、おばさん心配してたのよ

勇者A ははは・・・

パミヤ 今どうしてるの・・・？

勇者A 今、キル村で嫁さんと一緒に暮らしています。

パミヤ へっ・・・結婚したの・・・いいわね・・・

パミヤ うちのシギトにも早く良い・・・

シギト か・・・母さん！話が長いよ・・・

パミヤ だって・・・

シギト まだ紹介が終わってないんだから・・・考えてください。

パミヤ まあ・・・この子ったら・・・（略）

シギト さ・・・さてと・・・

?? 勇者Aさん、はじめまして

?? シギトの幼馴染のフィーネと言います。

フィーネ よろしくね。

肩まで伸ばした金色の髪に大きな瞳、明るい栗色のドレスを着ている女の子
首からは金色の輪が連なったような首飾りをさげている。

勇者A よろしくです！（美人だなあ・・・）

シギト 勇者A、フィーネはうちで事務や電話受付してもらおう予定だ。

勇者A へーそうなんだ

フィーネ どんどん仕事つけるから、頑張ってね！

勇者A はい、任せてください！

シギト 勇者A、こちらは俺の剣術の師匠であらせられるコーヤン先生だ。

コーヤン はじめまして・・・

茶色ローブに、禿かけた薄い髪、目には眼帯
頬にはカタナ傷のようなものがついている。
怖そうなおっちゃん。

勇者A は・・・はじめまして・シギトの友人の勇者Aであります！

コーヤン ……中々いい顔をしておる。

コーヤン お前は強くなる・・・頑張りたまえ・・・

勇者A はい・・・（初対面でお前よばわりかよ・・・）

?? はじめまして、勇者A！俺、サラットだ！

サラット シギトとは同業で、商売敵だ！

金色の髪のが上にカールしていて、細い顔たちにあごの先端には
ちよび髭がみえる。

頭にはなぜか王冠を載せている。赤いマント、長袖の白っぽい服に、
長いズボンを着ており、蛇皮のベルトをしている。

シギト こらこら・・・

サラット ははは！まあそれは本当なんだが、友人でもある。

サラット まー頑張ってくれや

サラット なんならうち来ても良いぞ

勇者A ええ・・・

シギト おいおい・・・

サラット まあ気楽にやんな！

勇者A はい！（変な格好・・・しかも軽い奴だな・・・）

その後も自己紹介は続いた。

自己紹介が終ると勇者Aはテーブルに座った。

勇者A （はあはあ・・・疲れた・・・たまんねーよ・・・）

勇者A （俺こっぴうの苦手だ・・・気疲れしちまった・・・）

勇者A （どこかに勤めるって大変だよな・・・）

勇者A （取り合えず飯食お、飯！）

勇者A ムシャムシャ・・・（うめえ・・・）

勇者A （こんな食事久しぶりだ・・・）

勇者Aは感動している。

ツンツン・・・

誰かが勇者Aの肩を人差し指で突付いた。

シルディ 勇者A、ご苦労様！

勇者A むぐ・・・お・シルディ・・・

勇者A お・・・人間バージョンか・・・

シルディは魔法で羽を隠している。

シルディ うん！

シルディ 大変でしょ・・・シギトの交友関係は広いからね。

勇者A まあな・・・んぐ・・・

シルディ ちよつと私・・・

シルディ プルにこの料理、運んでくるね。

勇者A ムシャムシャ・・・お・・・わりいな・・・

勇者A あいつ、最近ろくなもん食ってねえから喜ぶよ！

シルディ あらら・・・かわいそうに・・・

シルディ うちに来たからには、そういうことは無いわよ

シルディ 仕事終わったら、良いもの食べさせて貰えるからね

勇者A え・・・

シルディ プルもここで働くんでしょ・・・？

勇者A んゝそれはまだシギトと話してないからなゝ

勇者A どうなんだろ・・・

シルディ シギト、プルのことかなり気に入ってたよ！

シルディ 「あいつは良いハートをもっている・・・」ってね

勇者A ほおほお・

勇者A ま、それも聞いてみるよ。

シルディ うん！じゃ、プルに届けてくるね

T
O
B
e
C
o
n
t
i

n
u
e

第29話 勇者A編 恋！

プル プルププ（ふゝ．．腹減った．．）

プル プルププ（今ごろ、勇者A良いもん食ってんだろっな．）

プル プルププ（しかし、ここ殺風景な部屋だ）

プル プルププ（コンクリートの青い壁、青い床にテーブルと椅子しかないよ．）

誰か部屋に入ってきた。

熊五郎 プル、いたか

プル プルププ（熊五郎、ウス！）

熊五郎 済まないな．こっち引つ越してきたばかりで

熊五郎 シギトのパーティの準備にかかりつきりで

熊五郎 俺たちの事はそっちのけだったからな．

熊五郎 この部屋も魔物たちの待合室になる予定だけど

熊五郎 まだ何にも置いてないんだよな

熊五郎 飯取り合えず用意しよっか．．？

プル プルププ（あ・・シルデイさんが・・）

プル プルププ（なんか持ってきてくれるって言うってたよ？）

熊五郎 ああ・・シルデイの奴・パーティ行ってるのか

熊五郎 でも、もう腹減ってるだろ？

プル プルププ（減ってます・・）

熊五郎 取り合えずこれやるよ。

熊五郎は肩に下げているバッグからチョコレートを取り出した。

プル プルププ（チョコレート・俺そんなの・・）

熊五郎 まあ食ってみなよ。

プル プルププ（背に腹は変えられねえ・・）

プルはチョコを大きな舌で熊五郎の手から掬い取ると
ぺろっと口にいれた。

プル プルププ（甘え・）

熊五郎 まあシルデイの奴くるまでそれで、少しは持つだろう。

プル プルププ（へい・何とかもたせます・・）

熊五郎 じゃ俺、ちょっと用事あるんでな

熊五郎 まあ、ゆつくりしときな。

熊五郎は魔物ルームから出て行った。

プル プルププ（しぬゝ・・）

プル プルププ（期待してきたから、余計腹減る）

プル プルププ（シルディまだかな）

コンコン・

誰かが部屋をノックした。

ガターン

シルディ プル お待たせ！

プル プルププ（シルディゝ！）

シルディ うふふ

シルディ ご馳走もってきたわよ！

シルディが魔法を唱えると

何も無い空間から突然大きな木箱が現れた。

シルディ はい、これ！

プル プルププ（なんだかシルディってすごいな・）

プル プルププ（それより飯だ・）

シルディ 開けるね。

シルディ ほら！

木箱の中にはローストチキン、何かの肉、その他色々な食べ物が
てんこ盛りだった。

プル プルププ（おお、すげえ・・）

プル プルププ（もう食べちゃうよおれ・我慢の限界）

プル ガバツ！ゲロゲロコクン！

プル プルプウ（食った食った・・）

シルディ ・・・・

シルディ 豪快ね

シルディ でもなんかかわいい！

プル ！？

プル プルププ（かわいい・・？俺が？）

シルディ うんうん！いいよその食べっぷり！

シルディ 私豪快な子好きだよ！

プル プルププ（なんだろ・・・このもやもやした気持ちは・・・）

シルディ この部屋殺風景だよね・・・

シルディ 壁紙はって・・・ペンキ塗って・・・

シルディ あの隅に大きな冷蔵庫おこつかな・・・

プル（この子・・・俺みたいな奴にも普通に話しかけてくれるし・・・）

プル（明るいいし・・・優しいし・・・俺なんか・・・）

プルは体の中の心臓のような物が、ドキドキしているのを感じた。

T o B e C o n t i n u e

第30話 勇者A編 パーティ終り！

勇者A （疲れてきた・・・おうち帰りたい・・・）

シギト さてと、皆さんもう夜も遅いので

シギト 今日のパーティはこの辺で終りとさせて頂きます。

パミヤ シギトちゃん、頑張つてね

シギト うん、頑張るよ、母さん

サラット じゃ、俺は失礼するよ。

サラット ま、うまくいくといいな

シギト うむ、お互いにな

サラット ふ・・・じゃあな

コーヤン じゃ・達者でな・・・

シギト はい、お師匠様

シギト お気をつけて！

ソリア 皆様お疲れ様です、出口はこちらです。

ソリア お気をつけてお帰りくださいませ。

パーティに集まった人々はみんな帰っていった。

フィーネ さーてと、明日から仕事かゝ！

フィーネ 気合いれないとね。

シギト うん、頼むぞ、フィーネ

フィーネ 任せて！

勇者A シギト。

シギト ん？なんだ？勇者A

勇者A あのさ、プルも仕事手伝わせてもいいかな？

シギト 無論だ、ただ、給料はお前と一緒にいいか？

シギト そうだな、人間並みに払うという事はできないが

シギト 少しは上乘せするぞ。

勇者A そうか、ありがとう。

シギト じゃ、ええつと・この契約書にサインしてくれ。

勇者A OK！

勇者Aは項目を埋めるとハンコを押した。

勇者A よしできた。

シギト うむ

シギト よし、今日からお前は俺達の一員だ。

シギト 頑張ってくれよ。

シギト 明日からバリバリ働いてもらうからな

勇者A うん、俺、頑張るよ！

シギト 期待してるぞ

勇者A 任せとけ！

勇者A プル吉向かいに行かないとな。

シルディ ここにいるわよ。

プル プルププ（勇者A、お疲れ、帰ろうぜ！）

勇者A お・プル、飯食えたか？

プル プルププ（うん、うまかった〜！）

シルディ この子すごいね〜、一瞬でペロッと食べちゃったよ

勇者A シルディありがとな！

シルディ いえいえ、好きでやってるから！

勇者A あ、そうそう、プル

プル プルプル（なに？）

勇者A お前も明日から俺と一緒に働くことになったから

プル プルプル（え・・・？まじ・・・？）

シルディ やった！

プル プルプル（よかった！勇者だけじゃ心配だったし）

プル プルプル（それに・・・ウフフフ）

シルディ プル、明日からよろしくね！

プル プルプル（おう、よろしく！）

勇者A じゃシギト、俺帰るわ。

シギト うむ、じゃ、明日な

勇者A うん、おやすみ！

シルディ おやすみ、また明日！

熊五郎 またな！

勇者Aはシギト達に手を振ると馬車を走らせた。

勇者A さぁおうちかえろー！

プル プルププ（ファゝ眠い・・・）

?? 生かして返すか・・・

?? 町を出たな。

?? 終了だ・・・

?? バーニングフレ・・・

?? ?

?? ファイアボール！

?? グアア・・・

?? 何者・・・？

?? ゾル、いい加減にしろ！

ゾル ソ・・・ソリアか・・・

ソリア お前が勇者Aの馬車の後をつけていくから

ソリア おかしいと思ったら・・・

ソリア 何のつもりだ？

ゾル フン・・・

ソリア 理由は分らないが・・

ソリア 勇者Aに仇なすものは容赦せん・

ゾル ほお・・・・・・

ゾル 容赦しない・・・・・・？

ゾル だったらどうするんだ？

ソリア 俺がお前を始末する。

ゾル 俺をか・・・・・・？

ゾル ハハハハ・・・調子に乗るな・・・・

ゾル お前・・・なんであんな奴に肩入れする・・・？

ソリア 勇者Aはシギト様の大事なパートナーだ・

ソリア その勇者Aを襲うという事は、シギト様に弓をひくのも同然。

ソリア 見過すわけにはいかない。

ゾル お前とは・・・戦った事なかったな・・・？

ゾル 痛い目・・・見せてやるよ・・・

ソリア ふん、思い上がりやがって・・・

ソリア 少し教育の必要があるようだな・・・

T
o
B
e
C
o
n
t
i

n
u
e

第31話 勇者A編 ソルvsソリア！

ゾル 俺を・・・なめるなよ・・・

ゾル お前のような・・・

ゾル 元は人間の成り上がり魔物とは格が違うんだよ・・・

ソリア ……ほお、それを知ってるのか

ソリア まあ、そんな事はどうでも良い

ソリア かかってこいよ？

ゾル ……死ね

ゾルの攻撃

特殊技 暗黒剣

ゾルは手に闇の力を収束し

暗黒の剣を生成した。

ゾル この剣の威力半端じゃないぞ・・・

ゾル くらえ・・・

ゾルの攻撃

ソリアに50のダメージ

ゾル む・・・暗黒剣の威力が・・・

ゾル 奴の体に届く前に・・・半減している・・・

ソリア ふ・俺のこの鎧には、目に見えないオーラが張られている。

ソリア 全ての攻撃は俺の体に届く前に威力は半減する。

ソリア さて・・・次は俺が攻撃してみようか？

ソリア このバルダーアクスの威力見せてやろう。

ソリアの攻撃

ゾルに当たらない。

ゾル ふん・・・いくらその斧が威力があろうとも・・・

ゾル 当たらなければ意味がないぞ・・・

ゾル そんな遅い振り・・・眠つてても避けれるわ・・・

ゾル 威力が半減するなら、数を増やすだけだ。

ゾルの攻撃

特殊技 暗黒剣技

煉獄刃波！

暗黒剣から黒い衝撃の刃が連続して放たれる！

ソリア む……

ソリア 時空結界！

ソリアの半径5M四方にドーム状のバリアのようなものができる。

ソリアには攻撃が届かない。

ゾル なんだと……

ソリア お遊びはここまでだ！

ソリアの攻撃

特殊技 旋風縛！

斧の激しい回転により

周りの空気が爆風を伴って斧に吸い寄せられる。

ゾル く……動けん……吸い寄せられる……

ソリア とどめだ……

?? やめろ

ソリア む・？

ソリア シギト様！！

ソリアは斧の回転を止めシギトを見た。

シギト ふー・・・参ったな・・・

ゾル ハアハア・・・

シギト ゾルの様子がおかしいと・・・

シギト ソリアから携帯で連絡をつけて、来てみれば・・・

シギト お前たち・・・なんでこうなった？

ソリア ゾルが・・・勇者Aに攻撃をしかけようとしてました・・・

シギト なに・・・！？

ゾル ……

ゾル 奴は生かしておけない・・・

シギト なんだと・・・！

ゾル ……

シギトは自分の怒りを静めるように息をふーっとついた。

シギト ゾルよ、お前は俺に忠誠を誓ったはずだ。

ゾル ……

シギト お前は俺との戦いで敗れた時

シギト 自ら懇願して俺の下についたはずだ。

ゾル ……

シギト その俺のパートナーとなる勇者Aに

シギト なぜそこまで敵意を向ける？

ゾル 奴は……

ゾル 何れあんたを……脅かす存在になる……

ゾル そうなる前に……邪魔な芽は摘み取っておきたかった……

シギト ！？

シギト どういう意味だ……

シギト あいつは俺の友人だぞ

ゾル ふん……何れ分かるよ……

シギト なんだと……

ゾル まあ…………

ゾル もう…………いい…

ゾル 奴にはもう手を出さねーよ…

ゾルはそう言うと、漆黒の翼を広げ夜の闇に消えていった。

シギト ……

シギト どういうことだ…

ソリア さあ…

その頃

勇者A プル、キル村どっちだっけ…？

プル プルププ…（勇者A…俺ねむいから…頑張れ…zzz）

勇者Aは道に迷っていた。

n u e

T o B e C o n t i

勇者A編 番外編 リンの休日！

勇者Aがパーティで出かけている頃

リン 勇者A、今頃どうしてるかな・

リン 洗濯も掃除も終わったし

リン お買い物は昨日済ましたし・

リン TVはろくなのやっていないし

リン 暇すぎるわ・

リンはゴロゴロしている。

リン 外出でもしようかしら・

部屋内にTHIARAの曲が流れる。

THIARAとは・

キル村のあるピリカ大陸で今最も人気のある
女性歌手である。

リンはTHIARAの曲が好きなので、携帯の着信音にしていた。

リン ん・・・？誰だろ。

リン あら・・・マナミだね。

リン もしもし～

マナミ リン、おっはよう！

マナミは同じキル村に住む友人である。

リン おはよ。

マナミ どう？少しは落ち着いた？

リン うん、まあね

リン あ、そうそう、聞いて！

リン うちの旦那様に仕事みつかったの！

マナミ うわ、すごい。

マナミ あんたの旦那って確か、魔物の狩猟ハンターだったわよね

リン え・・・ええ・

リン そっという職業かもしれない・

リンは勇者Aの仕事が良く分からない。

リン そんなことはいいの！

リン それより、今度オルカ村の会社で勇者Aが働く事になったの！

マナミ おお、よかったじゃん！

マナミ 会社勤めたら、安定してお金入ってくるね！

リン うん！たぶんこれからお金もちになるわ！

リンは誇大妄想が入っている。

マナミ あ、そうそう

マナミ 今からどこか行かない？

リン どこいく？

マナミ ピリカ海水浴場行かない？

マナミ 海だよ！

リン いいね、暑いしね

マナミ よし決まり！

リン どうやって行く？

マナミ キル村の南に「キル村観光」っていう会社があつてね。

マナミ そこから護衛つきの民間馬車が出るの！

マナミ 片道500キルよ、安いでしょ！

リン 安い！

マナミ じゃ、1時半にあんたんち行くわ。

リン あ、ちょっと待って！

マナミ どうしたの？

リン 水着がないわ・この間の火事で焼けてしまったの・

マナミ 平気よ、その観光会社に水着も売ってたから。

マナミ そこで買って行こう。

リン OK！

マナミ じゃ切るね。

リン はい！

ガチャ・ツーツー

リン はあ、海って何年ぶりだろ。

リン 勇者Aは山派だから、海には連れて行ってくれないのよね。

リン ちょっと楽しみだな！

30分後

ピンポン

リン マナミだわ

マナミ リン行くわよ

リン はい

リンはインターホンを切ると、外へ出た。

マナミ さあ行くわよ。

リン 行こう！

二人はキル村観光にやってきた。

社員A この水着はいかがですか？

社員A 今流行りのアニマル色のピンクのボーダー水着ですよ。

リン これいい！

マナミ うんうん、似合いそう。

マナミ サイズ合ってる？

マナミ 試着してみたら？

リン うん

社員 A 試着室はこちらです。

マナミ どう？？リン

リン いいかんじよ

リン 私これにする！

社員 A お買い上げ有難うございます。

社員 A レジはこちらで

社員 A お気をつけて

リン たちは店を後にした。

マナミ 切符も買ったし、馬車に乗ろう。

馬車運転手 A さあ行きますよ。

馬車の中には客用の長椅子が置いてあり
運転手の横には、屈強な黒尽くめのガードマンが座っている。

リン たまにはいいね、こつこつのも

マナミ いいよ

マナミ リンもたまには外出しないと、腐っちゃうからね

リン あはは。

馬車は海水浴場についた。

マナミ さてと、着替えて海行こう！

リン うん！

マナミ リン、最近お腹出てきてない・？

リン ビクッ・・

リンのコメカミに汗が滴り落ちる。

リン そ・・そんな事無いわよ・・

リン (ま・・さか・・・？太った・？)

リン (最近、引っ越してきてから、色々あって)

リン (てんやもんが多かったからなあ・・)

リン (でも、体重は増えてなかったはず・・)

リン (うーん・・)

リンはウエストが気になっている。

マナミ まあでも、プロポーション良いほうだよね

マナミ 出るところでてるし、アハハハ！

リン （マナミったら・・・結婚してから、すっかりおばさん化して・・・）

リン （こうはなりたくないわ・・・気をつけよう・・・）

マナミ ほらほら早く。

リン 待ってよ！

マナミ あそこ空いてるわ。

マナミ シート敷いてパラソル挿しましよ

リン うん。

マナミ よし、OK！

マナミ オイルぬろ・こんがり焼くよ。

リン 私の背中ぬって。

マナミ いいよ。

マナミ 塗りっこしよー

リンたちは塗り終わると寝転んでいる。

マナミ 泳がない・・・？

リン うん

マナミ ああ、気持ち良いね

リン 最高！

リンは泳ぎがうまい。

マナミ うわ・・・すごい。

マナミ バタフライできるんだ

リン うふふ、昔水泳部入ってたから！

マナミ へーリンって運動神経抜群なんだね

ナンパA ねーねー彼女たち、一緒にカキ氷でも食べない？

マナミ はあ～～？

ナンパA そんなつれなくしないでさ、行こうよ！

ナンパAはリンの手を掴んだ。

リン ！？

リン ちょっとやめてください・・・

ナンパ B そっちの彼女も行こうよ。

マナミ しつこいな〜・・・

マナミ どっか行ってよ。

リン (ちょっと・・・なにこの人たち・・・強引だわ・・・)

ナンパ A B ほらいこうつてば

リン (だんだん、ムカムカしてきた・・・)

リン (仕方ない・・・)

ドカ！

リンは無言でナンパ A のミゾオチに一発パンチを入れた。

ナンパ A うげ・・・

ナンパ B どうした、ナンパ A ・・・

ナンパ A は海に浮かんでいる。

ナンパ B おい・・・どうした・・・

ナンパ A 腹が・・・

ナンパ B 腹でも壊したか・・・？カキ氷食いすぎだよ・・・

ナンパB 戻るぞ。

ナンパBはAを引きずりながら去っていった。

マナミ はあ、うつとうしいの消えた。

マナミ でも、まだ声かけられるなんて

マナミ 私たちまだまだ若い証拠ね！

リン アハハ！

太陽が西に傾き始めた。

マナミ 帰る！

リン うん！

リン （今日はいい息抜きできたわ・・・）

リン 勇者Aどうしてるかな？・

第32話 勇者A編 ソル！

ゾルはどこかの岩場の頂上で佇んでいた。

ゾル　．．．．．

ゾル　（もう．．シギトのもとには戻れない．．．）

ゾル　（理由はなんにせよ．．）

ゾル　（俺は奴に背いた形になったんだからな．．）

ゾル　ふ．．．

ゾル　（また．．．一匹の魔物として．．）

ゾル　（本能の赴くまま．．暴れるだけのことだ．．．）

ゾル　ん．．．あれは．．．

物凄い勢いで馬車が走っている。

ゾル　人間か．．

ゾル　襲つか．．．？

ゾル　ん．？

兄A　しっかりしろ．．！

兄 A 村まではもう少しだ．．

妹 A お兄ちゃん！魔物が追ってきてるよ．．

兄 A く．．．逃げ切れない．．

兄 A 戦うか．．

兄 A お前は馬車に隠れてろ！

妹 A うん．．

兄は馬車を止めた。

ヒヒーン！

オーガ A 手間あ、かけさせやがって．．

オーガ A ハアハア

オーガ A 俺は腹へってんだよ．．

オーガ A 久しぶりの人間の肉だ

オーガ 逃がしてたまるか

兄 A しつこい奴だ．

兄 A は剣を抜いた。

オーガA 俺とやる気か・？

オーガA 殺して食うか

兄A くらえ！

兄Aの攻撃

オーガAは避けた。

オーガA ふん

オーガA 当たるかよ・

オーガの攻撃

兄Aは避けた。

オーガ く・・生意気な・

兄A ・・・・

兄A これはどうだ・

兄Aの攻撃

特殊技 ライトニングソード！

オーガAに30のダメージ！

オーガA 痛え・・

オーガA このやろ〜

オーガA 調子にのりやがって・

オーガの攻撃

特殊技 怒涛のおたけび！

オーガは多きな声をあげた！

兄Aはその轟音に耳をやられた

兄Aはふらついている。

兄A ぐああ・鼓膜が・

ゾル（ふ・・・終りだな・）

オーガA とどめだ〜

ドカ！

妹はオーガAにフライパンを投げた。

ゾル ！？

オーガAは攻撃を止めた。

オーガA なんだ・？

妹A こいつ〜兄ちゃんになにするの！

妹A このゝえい！えい！

バンバン！

妹Aはオーガの足をフライパンで叩いている。

オーガA 何だこのチビは？

兄A ば、馬鹿・・・なんで出てきた・

妹A だって・・・こいつお兄ちゃん苛めるから・・・

オーガA ふ、これお前の妹か？

オーガA うまそうな奴だ

オーガA こいつから食ってやるか

兄A やめてくれ

兄A 妹Aには手を出さないでくれ

オーガA しるか

オーガA 生きたまま食ってやる！

ゾル・・・

兄A こいつ！

兄Aの攻撃！

オーガAは避けた。

オーガA 邪魔するな！

オーガAの攻撃

兄Aに20のダメージ！

兄Aは倒れた。

兄A ぐう・・・糞が・・・

オーガA お前は後でゆっくり食ってやるから

オーガA 黙って見とけ！

オーガA さーてと、お前からだ！

妹A キヤ~~~~~！

兄A 無念・・・！

オーガAは突然吹っ飛ぶと
岩に叩きつけられた。

兄A ！？

オーガA グウウ・・・なんだ・・・一体・

ゾル・・・

オーガA 誰だお前は

オーガA 俺を今蹴ったのはお前か？

ゾル

オーガA なんのつもりだ？

ゾル

オーガA こら、何とか言え！

ゾル ふ . . .

ゾル お前の後ろ頭がちょっとむかついたんで . .

オーガA なんだと .

ゾル そのハゲ頭見ると、吐き気がするぜ . .

オーガA てめえ . ケンカうってんのか？

オーガA 魔物の癖して、人間の味方するつもりか？

ゾル 聞いてなかったのか . . ?

ゾル お前の後ろ頭が . . むかつく 言わなかったか . . ?

オーガA このやろ、調子くれてんじゃねーぞ！

オーガA しねや～～！

オーガAの攻撃

ゾルには当たらない。

ゾル 消える・・・

ゾルの攻撃

特殊技 闇の波動！

オーガは消しとんだ、

ゾル ふ・・・雑魚が・・・

ゾルは二人の方をゆっくり見た。

兄A ヒイ・・・

妹A キヤ～～！

ゾル ・・・・

ゾルはその二人を見て何かを回想している。

ゾル ・・・・

ゾル 行くか・・・

ゾルは一言そう呟くと、その場を飛び去った。

兄A ふう～～助かった・・・

妹A お兄ちゃん！

．．．．．

ゾル （ふ．．．俺も．．まだ甘い．．．）

ゾル （さて、どうするかな．．）

ゾル （取り合えず、俺の故郷、サルサの森へ帰ってみるか．．）

T
o
B
e
C
o
n
t
i

n
u
e

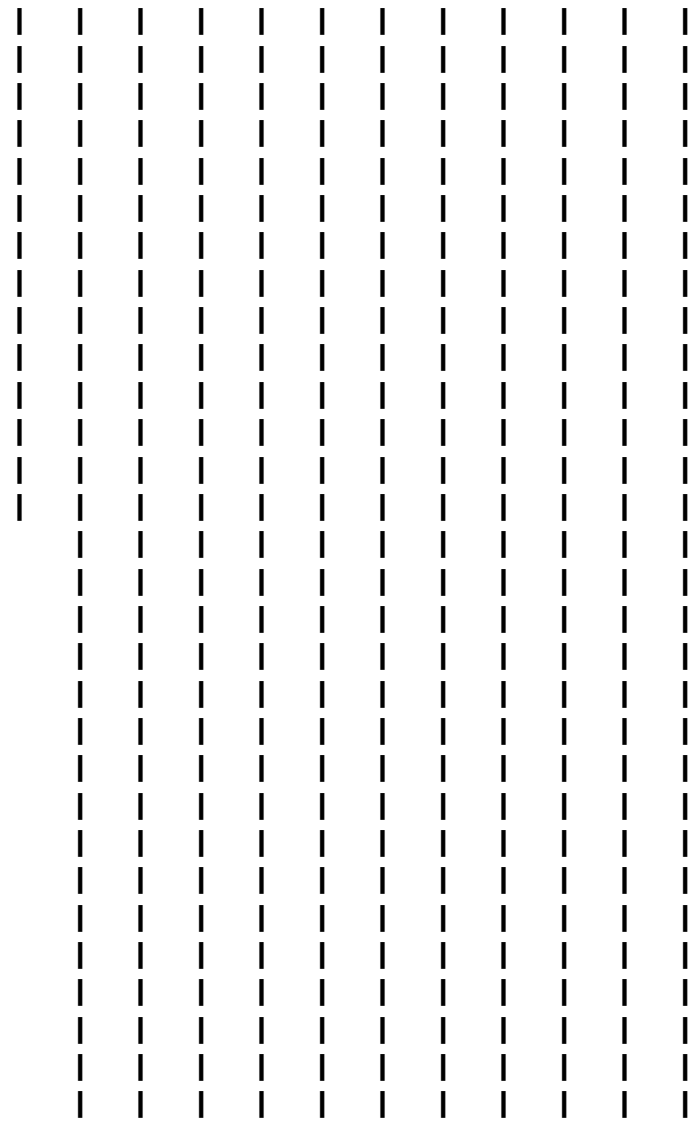
2はここで一旦終了となります。3に続きます

拙いこの作品読んでいただき有難うございました。

3で続き書くかは未定です。の予定でしたが
自分が先気になり始めたので3書き始めます。

T O B e C o n t i

n u e



PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5137e/>

悪者たちのぶつくさ2 色々編

2010年11月14日09時28分発行